(明治三十九年九月八日第三種郵便物認可)

京城日報

本紙定價　一部參錢　壹ヶ月金七拾五錢　前金
廣告料金　七號活字一行八十錢
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　振替貯金口座京城

列車時間表　[illegible]

大正七年七月一日改正現行

七月十一日夕刊（朝夕併せて八頁）

總督訓示

判任官見習講習會開會式に於ける山縣政務總監の代讀せる長谷川總督の訓示左の如し

茲に判任官見習講習會を開會するに當り一言諸子に告ぐる所あらむとす諸子は今次新に判任官見習に採用せられ將來任に地方行政の事に從はむとす惟ふに地方行政は施政の根柢にして百般の事務之に係はらざるものなし諸子の責任洵に重大なりと謂ふべし是を以て今回本講習會を開催し諸子をして將來地方官吏たるに必須なる智能を修得せしめむとす諸子は深く將來の重責に鑑み又克く本會の旨趣を體し勵精研鑽以て講習の實績を擧げむことを期すべし

共同防禦
主權の確立を見るまで
米國態度決定か

共同發表に依れば日英米佛各國の浦鹽駐在領事並に浦港派遣の各國司令官發議の結果日、英、米、支四國の陸戰隊を以て浦鹽の共同防禦に任ずる事とし六日加藤少將内藤提督の連名を以て主權の確立を見るに至る迄浦鹽の共同防禦に任ずべく内政は州自治會及び市參事會に一任し敢て干渉する所無き意味の布告を發表したり北警備區域は浦鹽市全般に亘るものにて殊にチェック軍が浦鹽を占領したる際發したる各種の布告は之を有效と認め且つ殘留せるチェック軍も共同防禦に加はる者にて猶チェック軍は聯合側軍隊として之を援助する事となれるが之れにて今日迄チェック軍に對し多少曖昧なりし米國の態度も決定したるものと認めらる（東京特電）

獨大使暗殺別報
露政府代表者義憤の意を表明

七日英國海軍省公表の露國政府無線電信左の如し（倫敦電報）

在伯林露國代表ジョッフェ氏宛レニン發電＝本日二時身元不詳の者二名特別委員會よりと稱し嘯僞の書類を携へて獨逸大使館を訪問しミルバッハ伯の室に爆彈を投じ伯は重傷を負ひ後死亡せり露國政府代表者は直ちに同大使館を往訪し政治的暴行に對する義憤の意を表明したり政府は暗殺者を捜索して之れを臨時革命裁判に引渡すべく必要の措置を講ずると共に獨逸大使館警衛兵の增員其他獨逸人の保護に必要なる措置を執りつゝあり吾官は直ちに獨逸外務大臣を訪問し此の暴行に對する露國政府の義憤並びに被害者に對する同情を開陳せらるべし

獨大使暗殺と東洋の形勢
今後獨逸の執るべき態度如何

駐露獨大使ミルバッハ伯の莫斯科に於る暗殺は重大なる變化を露國の情勢に來さんとする形勢ありミルバッハ伯はチェック軍の蹶起は反過激派の勢力を昂進せしめカレジンコロニロフの系統はホルワット一派と何事をか相通ずるの形跡あるを見伯は之に對し最近十一個師團の獨兵を西伯利に送りて反獨勢力に對抗驅逐せんとしたるが以て遂に彼の脅迫を蒙れるチェック並に反過激派の激昂を來し遂に今回の事件を突發せしめたるもの、如く獨逸は之に對し如何なる對策に出づるやは知る可らざるもペトログラード莫斯科間に多數入込み居れる軍人を武裝せしめ兩都市を占領し完全に露國を其治下に置かんとするに非ざるか、尠くとも其傾向に於て獨逸の強壓は露國の上に加はる可く延いて東洋の時局に急轉を來

す無きやを保せず（東京特電）

事實露の主權者

クレンスキー氏は五日開催の佛國下院社會黨員集會に於て演說を試み駐獨大使ミルバッハは事實に於て露國の主權者たりしなりと云へり（巴里電報）

弔問使節派遣

レニンは伯林駐在露國大使に對し露國政府はミルバッハ暗殺に對する露國政府の義憤の念と同大使に對する同情の意を傳達する爲め特派使節を伯林に派遣する事を述べたり（倫敦特電）

ケ氏決議案發表
露憲法議會各派代表者結社の

五日開催されし佛國下院社會黨員の集會に於てケレンスキー氏は露國憲法議會各派代表者（過激派を除く）を以て組織する一結社が本年五月十八日の秘密集會に於て通過せる一決議案を朗讀したり右議案はブレスト、リトウスク條約を却け露國は今猶獨逸と交戰狀態を持續しつゝあるものなるを宣言す然れども露國は聯盟國の總てが露軍と一般的協調を保ちて獨軍に當る場合の外聯合國の干渉を決して肯はずと（巴里電報）

極東政府樹立か

ホルワット將軍はブレシコフ將軍と相携へボグラニッチナヤに赴きしが右要件は哈爾賓を中心とせる極東政府樹立の爲とグロデコオに近きゴレンキに於てコロニロフ部隊と浦鹽より來りしチェック軍と衝突せるより其解決を爲さんが爲なりと（長春特電）

支那政府の西伯利出兵準備

支那政府は西伯利出兵に關し參謀本部を最高軍司令部と爲し日本と充分の聯絡を執る計畫にて既に參謀總長は命を受け之が改良擴張を議定せり（北京特電）

出兵準備質問か

林公使は六日午後外交部に公文書を送附せり陳外交總長は之を避暑地にある陸總長の下に打電せるが陸氏より即日歸京する旨返電ありたり其内容は常德錦州等七箇所の開港の要求又は出兵準備に關する質問なりと傳へらる（北京特電）

二個師團出兵案

參陸辦公署は國務會議に對し二個師團出兵案を提出せるもの、如し（北京電報）

蒙古兵不日到著

巴布札布の殘黨と稱せらる、阿利嘛喇嘛僧侶の率うる約一千名の蒙古兵は不日セミヨノフ軍營に到著す可しと（滿洲里電報）

チ軍輸送要求

ブラゴエチエンスクに近きボチカレウオに約千名のチェック軍來り同軍を船にてハバロフスク迄送らん事をブ市反過激派に要求中なり（長春特電）

赤軍派遣隊出發

トロツキー革命軍司令官の管理に屬する赤衛軍西伯利派遣隊はペトログラードを出發せる旨莫斯科より來報ありたり（ストツクホルム電報）

敵俘虜援軍五千

獨墺俘虜五千名新に援軍としてイルクック及びチタよりハバロフスクに向へり（哈爾賓電報）

露國飛行機輸送

ニコリスクの飛行機はハバロフスクより二臺送せられたるがイルクック方面には更に五、六臺あり獨逸將校之を操縱指揮し居れり（哈爾賓電報）

過激派本部移轉

從來イルクックにありし過激派軍の本部はウエルフネウヂンスクに移轉せり（倫敦電報）

軍政府成立宣言

政務總裁岑春煊、陸榮廷、伍廷芳、唐繼堯、林葆懌氏は連名を以て七日軍政府成立を宣言し政務會議開會を布告したり（廣東特電）

ブ市危殆と避難者

ブラゴエチエンスクは目下危殆に陷れるより陸路續々哈爾賓に避難し來るもの多數あり（長春特電）

英軍アメル占領

英軍は勇敢なる強襲を行ひアメルを占領せり（倫敦電報）

愛蘭自治團禁壓

英國政府は愛蘭自治を標榜するシンフェーン及び其他類似の團體を以て不法なりとし全然之を禁壓する事を公式に發表せり（倫敦電報）

土國皇帝即位式

君士坦丁堡來電—故土耳古皇帝モハメッド五世の皇弟ヒッドウジンはトプカルフ宮殿にて即位式を擧げたり式後モハメッド五世の遺骸はエブ會堂に移され埋葬に附せられたり（アムステルダム電報）

殖銀委員晩餐會
藏相設立の由來と必要を述ぶ

朝鮮殖産銀行設立準備略完成し十六日より株式募集の運びとなれるを以て同行設立委員たる鈴木度支部長官、美濃部鮮銀總裁は山縣設立委員長に代りて主人役となり八日午後六時より銀行集會所に財界の諸名士六十餘名を招き晩餐會を開催特に長谷川總督勝田藏相臨席先づ鈴木委員より挨拶を兼朝鮮産業の發展狀況を概說し殖銀設立の必要に及び續て長谷川總督は同銀行設立の急務と内鮮兩地資本の共通せる所以を述べ内地有力者の賛同援助を求め次に勝田藏相の演說あり三十九年目賀田財政顧問時代當時に胚胎せる殖銀設立の必要と由來を述べ内地資本家の助力を希望し最後に志村勸業銀行總裁は朝鮮産業の趨勢と今後極めて有望にして之が資金供給の潤澤を必要とする所以を說き更に進んで勸銀及び殖銀と資金上の連絡を密ならしめ朝鮮開發に資せられんことを希望し其れよりデザート・コースに入り美濃部委員目賀田男の演說あり十時散會せり（東京特電）

典公使 參内

本邦駐箚瑞典臨時特命全權公使に任ぜられたるストローム氏は十日午前十時參内親任狀を捧呈せり（東京電報）

首相午餐會
飛行協會の爲め

寺内首相は九日正午より帝國飛行協會の爲め各大臣陸海軍航空關係者貴衆兩院議長實業家等を招待し午餐會を開きたるが首相は帝國空中防備の完成は目睫の急務にして國民全般の協同賛助を得ざるべからざる所以を說き後長岡中將より飛行協會の事業に就きて說明するところあり澁澤榮一男外七氏を賛行委員に擧げ午後四時散會したり（東京特電）

三議員當選

貴族院伯子男爵議員總選擧は十日華族會館にて執行伯爵議員は午前七時より開始、九時開票、男爵議員は同八時より開始、十時開票、子爵議員は午前十時より開始十二時開票の結果伯爵二十名子爵男爵各七十三名當選し各管理者より宮内省宗秩寮貴族院事務局に通牒せり（東京特電）

期米立會中止

東京蠣殼町期米市場は八日立會中止の後を受け追證金の拂込み遲延し爲に賑濟の整理付からざるより九日前場後場共に立會を中止せり（東京特電）

明石總督 發

明石新任臺灣總督は十七日朝神戶發赴任の筈なり（大阪特電）

鈴木判事轉任

前釜山地方法院長鈴木伍三郎氏は今回京城覆審法院判事部長に轉任し十一日午前十時半發急行にて赴任の途に就けり（釜山特電）

辭令傳達式

此程任命を見たる郡守の中高陽郡守山崎駿二氏並に大田郡守高津友保南氏に對し十一日午前十一時總督室にて久芳人事課長兼勝秘書課長列席の上辭令傳達式を行ひ山縣政務總監より夫々辭令を交附せり

辭令

今回左の通り辭令ありたり

任總督府事務官（各道）　陸軍憲兵中尉　光武作平
同　藤邊幹
任京城中學校教諭　從七位　神田信
總督府港務官　六等　壬生一夫
依願免本官　同府技師　杉輿三
任總督府技師　京城府在勤を命す

殖銀實業家招待
藏相出席各有力者の殖銀贊同

朝鮮殖産銀行設立の用務を帶び過日上京したる鈴木度支部長官及び美濃部朝鮮銀行總裁は同設立委員として去る八日夜東京銀行集會所に於て東都有力なる實業家を招待し同銀行設立に關し紹介を爲したるが折柄上京中の長谷川總督及び特に勝田大藏大臣も來會し會するもの澁澤大倉兩男爵、志村勸銀總裁佐々木一銀頭取團三井理事長等の諸氏五十四名にして鈴木長官設立經過の說明を爲し總督より來會者の盡力を乞ひたるに對し勝田大藏大臣は該銀行設立に關し熱心なる贊意を表し他の金融機關との連絡等詳細論述し將來日本勸業銀行との關係及び朝鮮銀行は將來朝鮮の地方的業務は殖産銀行をして引受けしむるを可とする旨を述べ殖産銀行の將來多望なることを保證し總督の依賴に對し來會諸氏の熱心なる贊助を希望する旨を述べ志村勸業銀行總裁は朝鮮の農業の頗る有望なることを述べ農工資金の供給未だ不十分なること及び大藏大臣の所論の如く殖産銀行と勸業銀行との關係に就きては充分なる援助と連絡を惜まさるべきことを述べ次いで晩餐を共にし席上美濃部總裁は鈴木長官と共に委員長に代り上京せし旨を述べ來會諸氏の盡力を乞ひ且つ朝鮮銀行は今後支那其の他に於て業務擴張の要あり大藏大臣の御說の如く地方的業務は殖産銀行に依賴する必要ありと論じ目賀田男爵は當初農工銀行設立の目的が亦本來の如く統一監理にありしこと及び韓國財政整理の根本に遡り贊意を表して挨拶を試み殖産銀行設立の趣旨を十分徹底せしめ得て頗る盛會を以て終了を告げたる由尙當日の出席者は左の如し

澁澤榮一男、木村久四郎、大倉喜八郎男、團琢磨、柳谷卯三郎、堀原仲二、馬越恭平、中野武營、大橋新太郎、末延道成、郷誠之助男、川崎八右衛門、藤原銀次郎、[illegible]、荒井賢太郎、高橋德三郎、山下龜三郎、門野重九郎、小池國三、神田鐳藏（以上實業家）、長谷川總督、勝田藏相、池邊總理大臣秘書官、下條内閣書記官、市來大藏次官、松本主税局長、馬場松村兩法政局參事官等（以上陪席）

鮮銀金券の北進
哈爾賓の流通高既に五百萬圓……金建取引漸盛……露亞銀行の金勘定開始
鮮銀哈爾賓支店長　木原小平氏談

朝鮮銀行券の哈爾賓北進は端を昨秋に開きしものなるが今春來銀行券の哈爾賓流通高

▲日漸旺盛 を來し既に露國人間にも取引を見るに至りし由にて之れを昨年十月頃まで全く影を見ざりし實狀に比すれば鮮銀金券の哈市侵入の勢ひは駭世の感あり右に付入京中の木原哈爾賓鮮銀支店長は曰く哈爾賓市場に於ける鮮銀金券の需要漸增は銀行にて假りに何の手心をもせずとも大勢と稱するを適當とすべく今後尙增大し行くべしと信ず何故鮮銀券を哈市にて歡迎するやと云ふに第一昨秋來留の高低甚だしきため日露支人共に到底通貨として取引危險を感ぜし事第二に哈爾賓の輸入品はその

▲全部を日本 に仰ぎ居る關係上金建にあらざれば其の取引不可能となりたる等の事情より來れるならんも少しく今日の哈爾賓に於ける金券の勢力を述べんに、

朝鮮銀行の貸出總額中金勘定は八割の多きに達し留勘定は僅々二割に過ぎず半歲前まで留勘定のみなりしを見れば思ひ半ばに過ぎざる由又正金松花鮮銀三銀行預金の金勘定は現在四百五十萬圓の多きに達し露人間に於ける金券の流通その他各種の點より推算し目下の哈爾賓に於ける金券の流通總額は

▲五百萬圓以上に達し居れりと見得べく又更に特筆すべきは該國の銀行たる露亞銀行が金勘定を開始したる事並に哈爾賓傅家甸に於る支那人の貨幣取引所に於て從來留對官帖建の勘定のみなりしが兩三箇月前金の流通漸やく多額となるや留對金の勘定を開き目下一日十二三萬圓の取引を見つゝあり更に日本人側の商店宿屋料理店等は金券に非ざれば代價の收受をなさゞる事となり居れるは勿論支那人と日本人間も日本人と露人間にも盛んに金取引を見又露人相互間にも

▲金の取引 を出現し居れり尙鮮銀と云はず正金も松花銀行も近來留の貸出しは危險に付成るべく之れをなさゞる事とし居れり何となれば留の貸出を行へば若し留の騰貴に際會せんか債務者はその返濟を故意に怠り一方價格の下落に際すれば直ちに返金をなさんとし銀行としては擬しき不利の地位に立つを以て也之等の事情にて露貨の放資口は殆んど絕無に近き程となりたるに付五日より鮮銀は正金と協議の上小口當座及び當座預金を無利子として定期預金のみ年

▲二分の利子 を附する事となりたりコレ銀行は唯露貨の保管をなす位に止むるものなれど露國の狀態混沌として露西亞銀行に留の預金をなし置くも前途如何に成り行くや甚だ危險の虞ある銀行に預金せんとし留預金は增加し行く傾向にある如し要するに近時哈爾賓に於る日本の實業的發展も注目に足るものあるが金融的にも吾が勢力の進入は著るしと稱して可なり

五州輕鐵の許可
小山鈴木店長談

豫て出願中であつた五州輕鐵も愈々認可される模樣です大體の計畫は京城日報に出てゐたやうなものだが愈々

▲明年の秋 になり松汀里潭陽間と那山郡北間第十一期線に取掛り順次第四期線工事を進めることなれば時局が今日の儘に推移せんか六百萬圓の資本で不足を來すかも分らない然し戰爭次第だからどの樣に變るとは確乎と云へない譯である又全州以北の公州方面の鐵路は當初の計畫では敷設しようと云ふ事になつてゐたが色々當局の意向もあり少し面白くない事情も生ずるらしいから省きました而して會社の設立と云ふ事は今後の問題であつて該會社の株券を鈴木がドレ丈け持つかと云ふ事も幹部の腹案はあると思ふけれどマダ公になつてゐない、又會社の

▲成立時期 も今の所では何つの事だか分らないけれどさう遠くはないと思ふ尙ほ輕鐵會社の名稱を朝鮮拓殖鐵道としたらどうであらうと云ふ意見も出てゐたが又從來の如く五州輕便鐵道として置く事となつた兎に角此の鐵道の敷設が進んで行けば地方産業の開發には少からず寄與する事と思ふ

殖産銀行設立彙報

▲株式申込續々 殖銀設立事務所に十一日午前達したる情報によれば既に株式の申込は京都の一銀支店の二千百二十株を初め下の關一銀より百株申込の報あり神戶よりも申込好況の前報あり東京大阪共に好景氣の由なるが一方鮮内の申込みは韓一銀行の六百株鮮銀の百九十株受理を初め總計早くも一千五百餘あり彼是四千株に達し居る由にて應募數は本紙處報の如く數倍に及ぶ模樣なり

▲優先申込書 殖銀設立事務所にては農銀現株主に附與すべき殖銀株優先申込書を十日滿洲農銀に送附し十一日より十二日に亘り各農銀に配附する由なるが現株主にして株券を提供し優先申込書を受けんとする場合は農銀本支店に之れをなし得る事となり居れるが該書類には所定の記入をなしその氏名の下に押捺すべき印は當初銀行に屆け出である印鑑と同一のものなるを要すと

▲大阪の披露 東上中の鈴木度支部長官美濃部鮮銀總裁は十二日大阪に下り財界有力者を招待殖銀の披露をなす由尙ほ長官は其の後東上豫算に關する打合せをなし廿二三日頃東京發歸任すべし

判任官見習講習會開會式

豫報の如く十一日午前八時半より永樂町研究會場に於て判任官見習講習會開會式を擧行し別項の如く山縣政務總監より總督訓示の代讀並に宇佐美内務部長官の官吏服務紀律朗讀に次いで一場の訓話あり同九時式を終り直に講習を開始す

有松長官 巡視

有松法制局長官は十一日關屋學務局長の案内にて高等普通學校同附屬普通學校女子高等普通學校私立普成學校幼稚園及裝仁面役所等を視察し午後は青木農務課田第一兩課長の案内にて東拓森島出張所西大門監獄商品陳列館等を視南山に登り京城市中を展觀せり

有松長官招宴　總督府

高等官及民間有志は十一日午後七時より朝鮮ホテルに入京中の有松法制局長官園田書記官を招待し晩餐會を開催す

送無佛兄歸東　立花鵜洲
江天雲樹。離合似浮萍。君向青山裡。我追淡水汀。

次無佛兄留別韻
文章報國復何疑。離合在天誰得知。佛是弗人々是佛。妙光八面自然馳。

送無佛詞兄東歸　金台　草場謹三郎
年過知命復何説。世上所非今是時。零落人間功德在。君名夙逐佛光馳。

送　古海　嚴潮
忽聞君去步遲疑。綠樹重陰梅雨時。篤學因緣隨處好。聲名從是海東馳。

無佛先生東歸を送る　岡本桂堂
杜鵑君送るべき發句もがな
君去りて寂話淋しき數週かな

北海道より（十九）
天民生

一日旭川の附近にアイヌ部落を訪ふた。此の部落は漸次改善せられて最早往々風俗、言語なども一見内地人と異なる所がない、一區の保護の下に毎戶に一町歩の土地が無償貸與せられ、模範農場あり、小學校あり、施藥救療の法あり。目下五十七戶二百七十人の人口を持つて居る、しかし彼等の衞生狀態は非常に惡しく智識は如何とも仕難く、獨立自活の域に達するのは極めて遼遠のことであらう

アイヌの眼は黃色を帶び全身毛が多く、眉も濃く、睫毛も長い、一寸猿に似て感ぜらるゝが暫く見ると非常に柔和である、之が三千年前の日本の先住人種として我々の祖先を惱ましたものとは何うしても受取れない樣な氣がする。アイヌは詳しく言ふと本島アイヌと色丹土人（北千島アイヌ）の二種あるので、前者は戶數四千四百餘、其の人口一萬八千餘、後者は戶數十一、人口四十餘人に過ぎぬ、兩者を通じ毎年極めて少數の增加を見て居る樣であるが、黴毒と肺病とは非常に流行して居ると言ふから、其の前途は甚だ心細い

人事消息

▲大島淸一氏（土木局技師）十日附東京岡山山口福岡大分宮崎の一府五縣へ出張を命ぜらる
▲藤樂淳平氏（同上）十日附往復三十八日間の豫定を以て安東大連營口奉天長春天津青島上海各地に於ける港灣及海陸連絡設備調査の爲め出張を命ぜらる
▲指宿武吉氏（黃海道技師）十一日朝入京巴城館へ
▲本田正信氏（哈爾賓支店長）十日午後入京不知火旅館へ
▲伊藤謙中尉（鎮海分隊長）十日夜入京京城館へ
▲小山田遠兵少佐（江原道警務部長）五日より管内巡閲中
▲金澤代議士　十一日朝退京
▲加藤本社長　十一日朝出發東上
▲李完用伯　十日水原より歸京
▲閔泳瓚子　同上

茶前酒後

◎獨使の莫斯科に殺されしは反過激派の獨逸に對する復讐的手段の一也
◎彼は公然露國の政務を獨逸擅の一人舞臺とし十一個師團東伐派遣をも目論む
◎彼の橫死は獨勢力東漸上の大打擊也獨の對露策急變も怪むに不足
◎斯くなりては最早過激派反過激派の爭に非ずして獨逸と反過激の爭
◎而して在露の獨軍は獨墺俘虜にて編制反過激派側は血得苦軍と聯合
◎血得苦軍は目下西伯利の立役者到る處に反過激軍を破つて勢隆々
◎[illegible]には三千の過激軍二千の俘虜ありて獨逸大尉指揮す
◎更に五千の俘虜も來合して占領須區には飛行機二臺も來り勢旺盛
◎別に入營突に五六臺の飛行機ありと報ぜらる次の激戰地は此處か
◎果して然りとせば注意すべきは血軍の實力也彼能く此の勁敵を破るや否
◎在露の血軍は約五萬人而して莫市より浦鹽に至る鐵道沿線に點在す
◎各團體が悉く俘虜軍の爲に連絡遮斷唯俘虜軍の大なるものは烏臘耳
◎別に西方不馬拉に約一師團あるも俘虜軍四千既に突馬拉討伐開始
◎更に宇士府附近にては獨墺下士官廿名を中堅とし新軍團も編成せる
◎噂逐次俘虜軍團攻擊を開始せんか各所の血軍能く支へ得るか疑問
◎過激派援助を口實の獨逸本腰となれば從て諸武器を用ゐん危い哉血軍
◎而て獨墺過激派の勝利は即ち徹底的獨禍東漸を現出する者と知れ

成歡附近の水害實况 （上）怒濤に洗はれて田中に墜落した線路（下右）野外電話で聯絡を取りつゝある運輸係員（下左）軌道補修工事

●鐵石を押流した激流

六尺の築堤が二百五十間も崩れて鐵路がクニヤクニヤに曲つた

平澤成歡間の水害現場を視る

◇今度の水害は三十九年以來の大被害

八日夜來の豪雨で散々に荒された平澤成歡間の水害の實況を視るべく十日の午後二時半平澤驛に降りた記者は平澤以南の列車運轉不能と聞いて聊か弱つたが水害の現場まで四哩半を線路傳ひに膝栗毛を踏ることになつた

◇停車場 から二三町行つて振り返つて見ると九日の晝間から夜にかけて全市水に見舞はれたといふ平澤の町の水は已に退いてはゐたが、市街を中心とした附近一帶の田畑は悉く浸水して見渡す限り一面の泥海と化してゐるのがいかにも水害のあとらしい感じがあつた、それと同時に午後三時の强烈な光線にキラキラとかゞやく漣波が鐵道線路の築堤の裾にまでヒタヒタと押寄せてゐるのが前日の水害の怖ろしさを語るやうだつた

◇線路の 兩側の田、畑に湛へた水は平澤のステーションから約二哩半も續き畔道や堰が切れて田から田へ凄じい音を立てゝ流れる水のために植ゑつけてまだ間もないらしい苗代がアツプアツプと水面に浮いてゐるのは何んともいへぬ慘めさであつた、現場へ行く途中成歡まで歩いて還るのだといふ名刺を呉れた[illegible]生徒だといふ金[illegible]君の話によると浸水の個所は水田ばかりでなく畑も可なり多く、殊に稻の植付けのため麥の收穫を延ばした所などは莫大な損害だらうだ、この附近の

◇出水は 平澤驛から南へ一哩半ばかり京畿道と忠淸南道の境を縱貫してゐる幅一町餘りある安城川が氾濫したのに因るのださうだ、水害の現場は成歡驛から北に約一哩强程ある所で小高い山に天幕を張つて九日の夜から十日の朝にかけて召集されたといふ約六百人の人夫が復舊工事を急いでゐた、破損の個所は魚龍里[illegible]といふ橋梁を中心として線路の決潰約二百五十間、この間の線路の築堤は殆んど

◇半崩れ になつてレールがクニヤクニヤに曲がつてゐたり橋梁の袖石が押し流されたり、甚だしい所になると高さ六尺もある築堤が跡方もなく激流に浚はれた上に混凝土で固めたその外壁までが崩れてレールが十間餘りも水田の中に曲りくねつて落ち込んでゐるのさへあつた、これは當時の慘狀をそのまゝに語る明瞭な事實であるが、それでも記者の着いた四時頃には六百の人夫が徹夜の奮鬪によつて半ば修理されてゐたのであつた、露天に列車運行表やら野外電話やらを置いて頻りに

◇開通を 急いでゐた管理局運輸係員や松田龍山保線係主任の語るところによると九日夜の最も猛烈な時などは激流が線路の上を四尺も躍り躍ねて手がつけられなかつたさうだ、今回の水害は明治三十九年以來の大被害であつたが各係員が徹夜兼行の努力によつて豫期以上に應急工事が進んで十日の夜行から開通したのは一般旅客のために何よりのことであつた（特派一記者）

◇帝國大學行幸

天皇陛下には九日午前九時半東京帝國大學に行幸卒業式に臨御あらせられ優等卒業者二十九名に對し恩賜の銀時計を下賜せしめられたり（東京特電）

◇東宮松島へ

瑞巖寺に松の御手植

皇太子殿下には九日午前八時鹽竈神社御參拜後松島御遊覽あり瑞巖寺に松の御手植あり午後五時仙臺に御歸還ありたり（東京特電）

●元山の東京相撲

八日京城を發し元山に乘込んだ[illegible]定まらず今日も陰朝來細雨降り來り[illegible]相撲場附近は[illegible]

白岩 大卿 琴ケ浦 鷹の川 鶴島 大戸平 大潮 千葉崎 三杉磯

[illegible]く帝國青年の歌と題する歌曲を合唱せしめたる[illegible]會

外人一名 二等二十五名 岡野 倉吉 岡田門太郎 田中 [illegible]

●增貫懲役二月に處せらる

[illegible]一は十日東京地方裁判所にて檢事求刑通懲役二月に處する判決ありたり（東京特電）

●大阪工業試驗所燒く

損害一萬圓

十日午後大阪府立工業試驗所化學室一棟全燒一萬圓の損害なるが八月一日より國立試驗所たるべきものなれば善後策に就き關係者目下協議中なり（大阪特電）

●中元贈答が有罪になる場合

官公吏の奧樣に御注意

お盆が來て、お中元の贈答が問題となる季節に九州瀆職事件の判決言渡があり各辯護士が『中元贈答無罪論』を力說したに對し判決理由が發表されました其に就て綜合の贈答といふことは長年の習慣でもあり社交上缺くることも出來ぬ事情もありますから官公務に從事してゐる方々の

■奧樣方には 特にこの際に餘程注意をして頂かねばと存ぜられますので、社交上の禮儀と賄賂との區別について瀆職事件の判決理由書を見ますと、凡そ賄賂罪は公務員に對し一定の職務上の行爲の對價として不正に金品其他の利益を交付提供し又は約束によつて成立し、收賄罪は公務員の一定の職務上の行爲の對價にして前示の利益を收受し又は之を要求若くは約束するに於て成立す。故に（中略）賄賂とは右指定の利益の指稱に外ならず。而して（中略）官吏に其官の許可を受け其職務に關し他より金品其他の物を受くることなき旨の規定は、官吏の一定の職務上の行爲の對價として不正に金品其他の利益を收受する以外の場合に於て贈與を受くることをも禁ずべきが故に、[illegible]されば苟くも收受せられたる金品其他が一定の職務行爲の對價たる形式を備ふるか、非ざるかは[illegible]（後略）

■官吏、公吏、學校職員が他人から物を貰うて直に賄賂になるかならぬかを判斷しますのは、その贈物と職務との間に連鎖があるかないかといふことです。假令その物の價が高價でも、贈物と職務との間に連鎖があつたとすれば、それは立派な瀆職罪となります。之に反して贈物が眞の社交的の物であつて、少しも職務と連鎖がないならば、其は決して犯罪にはなりません。それでは如何いふことが職務に連鎖があるかと申しますと、それは

■事實問題で 一概には申されません。また官吏、公吏、學校職員等が公然と慶弔または祭儀等に貰ふ物は官吏服務規律に從うて長官の許可を受けねばならぬことがありますが、さういふ物ではありません。この服務規律に依りますと、官吏は自分の下役の者からは、絶對に物を貰ふことが出來ない事になつて居るのであります（某判決官談）

●新潟縣大火

新潟縣南蒲原郡加茂町に火災あり百三十七戸全燒せり（大阪特電）

●連絡船より投身

商人態のハイカラ

十一日朝釜山入港の連絡船新羅丸二等客福岡縣鞍手郡古月村深田清（三二）と言ふ商人態のハイカラ男は航行の途中十一日朝七時頃投身自殺を遂げたり遺留品は銀時計一個金緣眼鏡他二十點と現金十一圓七十錢ありたるが遺書なく東京より來りしもの如し（釜山電話）

●港内の難破

八日の强風で帆船萬吉丸

八日朝來の强風に遭て、豪雨募り仁川港内に繋留の帆船は之が爲め沈沒或ひは破損したるもの數隻あり帆船萬吉丸二十八噸は六日午後第廿一共同丸より石炭の荷揚げを爲し海州棧橋下に繋留中なりしが八日午前七時次第に加はる東南の

▼强風に 煽られ高浪舷側より打ち込みて七時三十分遂に沈沒せり損害は搭載の石炭五十噸の外約三十噸流失此の價格のみにても五百十圓に達せりと又同午後二時頃稅關棧橋内貨物棧橋東側に

▼繫留中 なりし第二十一川内丸及び第十三川内丸第十七萬丸等の帆船は繫留中の船腹に打ち揚げられて大破損を生じ何れも百餘圓の損害を蒙れり

●漢江減水

漢江の增水は十日午前十一時十分には二丈八尺五寸なりしが十一日正午は二丈[illegible]尺に減水せり

●隣家の薪で姉妹死傷す

京城[illegible]町二丁目五十八番地金仁植長女立粉（一二）二女順伊（三）は十日午後四時三十分頃自宅前の内庭に遊び居れる内板塀を隔て、隣家某の後庭に高さ三間ばかりに積みあげたる薪が俄然崩落し來り板塀を押し潰したる餘勢は兩兒を下敷にして順伊は即死し立粉は瀕死の重態に陷れり

り應急加療中にて本町署より係官出張檢證の上眞前方の雇人宋德一（三）を引致取調中

●學生の溺死

五高生洛東江にて

原籍福岡縣目下熊本第五高等學校生徒なる中村郁太郎は本月一日頃より歸省に當る慶南金海郡大渚面林燮識方に滯在中游泳せんとて洛東江洛仙渡船場より水中に飛び込みたるに折柄昨日來の降雨にて水嵩增し急流となり居る事とて瞬く間に數十町を押流されその儘行方不明となりたるより目下村民總出にて死體搜索中なりと

●京城高女生本社見學

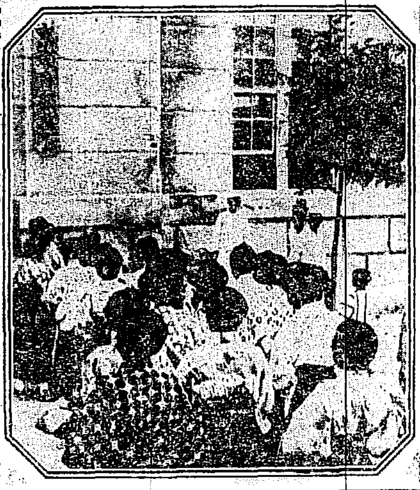
三年生百九十餘 輪轉機に驚く

京城高等女學校三學年生徒百九十餘名は日下部教諭以下數名の職員に引率せられ十一日午前十一時本社に來訪新聞製作の實况を參觀せり、一行は五組に別れ社員の案内にて先づ

◇編輯局 に入り局内の混雜ぶりについて說明を聽き原稿が工場に廻る迄の順序の複雜にして敏速なるに驚きの眼を瞠りたる上組版部に步を進めたり此處では折から夕刊原稿文選中なりしが一行には見るもの聽くもの皆珍らしいと云つた風にてキラキラと光る

◇新鑄のルビ付活字を 『何處で鑄るのでせう』

◇輪轉機 が轟々たる響きと共に廻轉する壯觀には何れも耳を聾せられ恰も瀧の如く落下する切斷されて來る新聞紙を見ては『何處で刷るのでしやう』『隨分早いわねえ』と不思議がつたり感心したり斯くて全部の見學を終るや一行は寫眞部に於て休憩し藤村理事より本社の使命組織等について說明を聽きたるが是より先本社寫眞部員は一行が來社せんとする光景を撮影したる寫眞を持ち來り一行の縱覽に供したるに何れも其早業に吃驚し『あら之は貴女よ』『まあ嫌ねえ斯んな顏をして』『アハ、、、』『オホ、、、』と無邪氣に笑ひ興じたるは微笑ましく一行は藤村理事の詳說に對する感謝の意を表しつゝ本社を辭して去りたるが[illegible]は商品陳列館を二年生は[illegible]を四年生は物產[illegible]を夫々見學する所ありたり



京城高等女學生本社見學

●郵便の配達回數が一回丈減つた

執務時間も短縮

京城郵便局の郵便物配達回數は從來通常郵便六回小包郵便三回であつたが十一日から九月十日迄暑い間丈小包郵便を除き通常郵便の配達回數一回を減じ左の通り時刻を改正する事となつた

一號便前七、〇〇△二號便前一〇、三〇△三號便後三、三〇△四號便後五、三〇△五號便後九、五〇

但し郵便物取集の回數は通常郵便八回小包郵便三回で從來と變りはないが之と同時に同じく本月十一日から九月十日迄左記の事務に限り取扱時間を午前八時から正午迄に短縮する事になつた

一、郵便爲替貯金事務 一、振替貯金事務 第三種郵便認可事務 一、電話加入[illegible]に關する事務

●郵便馬車と電車の衝突

十日午後四時五十分頃京城電氣會社の東大門發龍山行百八號電車が南大門通五丁目セブランス病院前を進行中前方なる南大門驛より京城郵便局へ向けて同局の郵便馬車が來懸りたる際何の馬は同日より使ひ初めのものとて電車の音響に驚き[illegible]け込みたるより運轉手は極力引止めしも及ばず之れを見て電車は急遽制動機を掛けしも[illegible]中の馬は[illegible]こが衝突するに至り馬は頭部及び外一箇所に擦過傷を負ひ郵便車も少しく破損せしが電車及び乘客には異狀なかりし

◇パコダ公園の奏樂 パコダ公園に於ては十一日より例年の通り[illegible]客のために毎木曜日[illegible]奏樂を催すべしと

讀者文藝

▲見ねてあるものは　利川　貞女

▲獨逸の大野心　平壤　[illegible]榮

▲仲居より見た客の　龍山　香草生

▲地中海上の富嶽　仁川　松洞

▲忘れた坊やの顏　一州　松月

▲禁止の財產　京城　歌[illegible]

▲十二日朝鮮東する無線[illegible]

[illegible]

讀者文藝 課題及募集規定

▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は住所氏名明記の事▲[illegible]

天氣

曇 一時晴

十二日 日出 日沒 仁川 滿潮 干潮 [illegible]

商況

東京期米特電

十日前場 今前場立會左の通り出來したるも立會延引となりあり 一番 二十四圓 [illegible]

兵庫期米特電

十日後場 一節 二十三圓 [illegible]

大阪株式特電

十一日前場 [illegible]

大阪三品特電

十一日前場 [illegible]

大阪期米特電

[illegible]

立會停止

下關期米特電

十日後場（天氣持合〔?〕）[illegible]

頗る不利

[illegible]

影響が及ぶ正米に如何

[illegible]

度迄買上ぐ各地引合ふ外

[illegible]

米の二十四圓三〔?〕三等合格

十錢迄引受

[illegible]

內の噂一萬叺以上高値現出今

[illegible]

●製粉商狀混沌

京仁製粉滯商少

●白米愈引締む

不採算の割安に陷る

仁川正米 依然渾沌狀態

[illegible]

雜 三品一層低

錢高の見當 一等二十七圓八十錢 鮮米

●正米尙高模樣 三錢十一圓二十五錢 十錢高

米棉一 引返し綿布

對う商談は進む相當纏り口

錢高の見當又々二十二十三錢

其値段は買方に

[illegible]

●內地糖市況

分蜜糖 臺灣赤

黑糖

●砂糖協定至難

下關相場

▲朝鮮米は先づ保合 前日期米の意外なる大暴落を[illegible]

生魚市場

京城日丸市場 [illegible]

釜山物市場 十一日

[illegible]

市場雜觀

▲十日委員長代理宅にて[illegible]

適宜處分を爲す

値段協定解合

解合値段決定

園 仲買店

仁川米豆取引所仲買人 [illegible]

客筋へ交渉期間猶豫ありたき希望を陳べ

先限二十五錢下値

錢上値中限二十五

引直り五十五

四錢上値

高低の差僅か

四錢切り相違

賣買双方の客

奎 大五仲買店

仁川米豆取引所仲買人 [illegible]

白米小賣値

一等白米 二十八錢五錢

二等白米 二十八錢

白米標準値

二十七圓六十錢

叺繩莚

穀物叺 石油叺 及荷造用莚各種

仁川本町三丁目 簑浦商店 長電話五二番

④ 今村覺次郎

仁川米豆取引所仲買人 電話 [illegible]

北濱たより

▲圓滿解決乎 [illegible]

大阪に於ける有力な賣方の大活動

全國に波及

隨て來るや否今後の問題

各地商況

▲大邱（九日の米況）[illegible]

南大門廻穀

[illegible]

仁川正米

[illegible]

仁川期米

▲十日後場休會

▲十一日前場 休會

限り後場休會東京立會延引

兵庫前場 京立會延引

兵庫市場立會 休會極り

筋には未だ解合種々異論

廣澤正次郎

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長三六五番

△釜山水產市場（九日）[illegible]

あゝ、みるが元山初日は九[illegible]せる前記の始末と云ふ

甲州 石[illegible] 千葉[illegible]　大淀 淺の山 劍の海 眞砂岩　伊[illegible] 玉の川 小手田山 小田山

●帝國青年の歌　十日第三師團長は青年の士氣を鼓舞すべ[illegible]

大連より

◎滿洲朝鮮にかけて近來傭兵募集[illegible]出沒し[illegible]在留邦人中の在郷軍[illegible]利を懸けて射倖心[illegible]煽し相當の應募者を得つゝあるものゝ如し

◎之等の應募者は名は義勇兵と稱すれど義の爲めに發兵に應じ義の爲めに意義有る働きを爲す者に非ず全く人夫日稼と同樣の傭兵にして北滿方面の内爭私鬪の爪牙を勤むるものなり

◎之れが募集を爲す者に至りては更に陋劣なる徒多く應募者一名に付き十圓内外の手數料の定めにて一人にても多くの應募者を得んが爲めに無責任極まる出鱈目巧言に人を惑はす者甚だ多し

◎既に先達の應募者にして北滿方に於て某隊に屬したるも其の給與約束と仙鶴話の言と實際とが甚だしき差異あるを以て脱走して來る者少からざる模樣なるが之等の應募者は滿鐵其他にて相當の給與を得安全なる生活を營み居たる者なるが募集者の欺瞞を信じたる爲職を失ひ途方に暮れ居る者多しと

◎最近北滿方面よりの歸客の談に由れば之等邦人の傭兵隊過日支方面にて某派と衝突せるが其の劣弱なる事目も當てられず邦人の面目を穢がし大なる恥曝しを爲したりと之れ正に然るべき事なり

◎何れの國の者何れの民族にても金錢の爲めに傭兵となり胸中鐵砲の定を爲しながら戰鬪に臨みて强かるべき筈なし見苦しき敗を取り嘲笑を蒙るは寧ろ當然の事なり人並以上に多慾なる傭兵應募者が僅ばかりの金錢の爲めに身命を拋つ所謂なし

◎斯くの如き傭兵を送る事は單に應募者本人の一身を過誤するのみならず我が民族の體面を毀損する者なるを以て其筋にては嚴重なる取締を爲すの要あるべく特に各個人が勸誘者の巧言に迷ひ利慾に惑ひて一身を誤る如き事ある可らず

◎北滿東部は日米兩國人の角逐漸次露骨となり激烈の度を加へ來れり彼等は鐵道事業に慈善事業に或は鐵道の改善に國家又は個人に[illegible]つゝあり彼等の望と事業とは遠大也

◎邦人の行動を見るに凡てが消極的非常手段にして何物をか掴まざれば止まずとする火事場泥棒的の者甚だ多し他人の内爭に關興し密に恰倒斷す何等得る處なくして露人及び支那人に嫌惡せらるゝのみ

◎殊に節制なき之等傭兵をして北滿地方に出沒横行せしむるは其の禍する處蓋し尠少ならざるものあるべし

皮相の親善を 何うすれば改め得るか

◆國民的外交の外なし◆

（[illegible]長春に於ける[illegible]氏は語つて曰く）

南支各地を見るに上海、香港、廣東を始め各地共帝國の經濟的勢力の伸張は實に著るしく各地市場の日本商品の充滿せる樣蓋し驚くべきものあり、然れども現今の状態は目下他より本邦貨物に對抗すべき適當の供給者無き際なるが故にして若し歐洲大戰にして終局を告ぐる曉は忽ち世界の經濟戰は一齊に支那に向つて注がるべきは勿論にして邦貨が其際にも猶現在の如き勢力の地位を保ち得るや否や考慮すれば

實に寒心に堪ず

我國民は今より努めて粗製濫造を戒め將來に信用を築くべき策を樹て以て邦貨の地盤を徐々鞏固ならしめざるべからず、支那一般國民が自國の内亂に倦き居れるは勿論なるが南支各地の士民は銃砲を恨れるよりは擾ろ限りなき戰費の誅求に堪へ兼ね其れを避けん爲め々各地を逃れ行く者頗る多きを見ると共に南方派の如何に戰費に窮し居れるかを窺知し得べし、而かも南方派は北方派に比し南方派の勢力の劣れるは事實なるも其れだけ南方派の結束堅き樣なれば北方派の言へる如く容易に南軍の敗滅に歸する如き事はあらざるべしと思はる

南北安協問題に

就ては双方共已に戰鬪の甚大なるに倦き安協を望み居れる情態なれば早晩事實となりて現出すべく只時期の問題のみなるが余は來る可き大總統選擧の前後に於て必ず成立すべしと信じ居るなり此の總統選擧は南派を安協せしむる唯一の具にして若し此の機會に於て猶且つ其の成立を見るに至らざれば支那は非常なる混亂状態に陷るべしと思はるゝも實は更に角名を重んずる支那民族は必ず總統の名に據りて兩派を調和し

南方六對北方四

分位の處を探りて以て一段落を告ぐるべきかと余は推し居るが如何にや、次に南北何を問はず支那人の對日觀を概括的に云へば『疑惧』の二字にて足れり、即ち彼等は誤解されば疑ひ、嚴正なる態度に出づれば恐る、が故口に親善を唱へながら此實の擧らざる所以

故無きに非らず

元來親善は結果にして先に口にすべき事にあらず然るに口には親善を鼓調しながら實際は疑惧の眼を以て接するが故到底双方意志の合致すべきにあらず、彼等の腦裡より忌むべき此の疑惧の二字を取り去るべき事は何よりも先決問題なるべし、之を除かんとするには須らく政策を一定不變ならしめざるべからず、尚一面には兩國民間に

國民的外交觀念

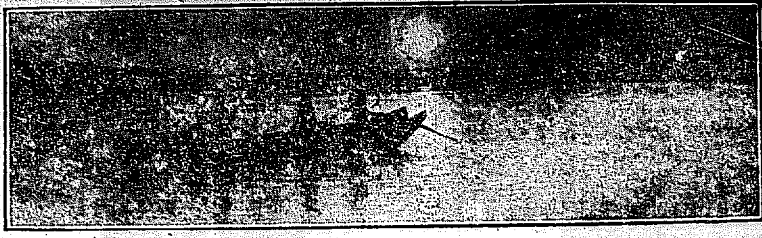
の缺如せる事にして外交とは政府にのみ存せる事と心得居るは大なる誤りにて政府の政策と相俟つて國民は國民相互の外交に意を注ぎ親密に此の二者が結ばるゝに至らば兩國の提携は

期せずして行はる、も

のなり、亦我帝國と支那とは如何なる事情發生するとも結局は相提携せざるべからず、之れ地理的及び人種的關係より生ずる自然の結果にして我が帝國は東洋の爲め將亦世界平和の爲め何れの國と如何なる關係の生ずるとも

日支提携を忽諸

に付するを得ざるなり。日支近接益々濃厚となるに連れ或は利害相反する第三者の生ぜんも計られざれど并は不已得事なり、日支提携は兩國不易の國是にして時勢と人力とに因り左右せらるべきものにはあらず（長春）



流燈數千 篝火幾百!!!

◇朝鮮故例の壯絶快絶なる一大雅遊◇會場は龍山漢江沿岸＝水上＝沙上一帶◇開催期は七月廿日（土曜日）

觀火大會

◇雨天順延廿一日（日曜日）◇交通機關は複線電鐵◇幾萬觀火諸君と共に燎火炎々の大偉觀に歡呼抃舞せむ哉

打揚仕掛煙花燎亂!!!

主催　京城日報社　每日申報社

盛漁期で目下 盛なる屈業島

◆内鮮人續々入り込む◆ 沙上のバラックは大賑ひ

仁川を距る西南に約四十哩德積面の一部に當る屈業島は屈指の好漁地として僅に數年前に發見された漁場である、毎年延平島の漁獲が濟むと直に此の屈業島の漁場へ移るのであるが盛漁期に於ける同島の殷盛は何れの漁場にも見る癖一本で命を賭ぐ荒くれの漁夫が一夜に千金を放擲する底の趣きがあるので俄造りの沙上の樓閣ならなくにバラック建の其の茅屋が賑ふ事夥だしい同漁場に

◇鯛と石首魚と鮟鱇◇が主として頗る豐漁の地であるから從て之れに從事する漁船の數も決して尠くはない目下の處では時機幾分早しとせられて僅に十隻餘の内鮮人漁船が居る許りであるが來る二十日の大潮時から頓に漁況が好くなるので今や紛々として之れに着目する雜貨店飲食店或は料理店等入り込んで砂上に小屋掛けを急いで居るとの事である殊に本年は魚價が頗る好いので人氣一層引立ち今の處では漁具販賣店や雜貨其他内地人が六軒鮮人が數軒入り込み料理店の數が内鮮及び支那人の料理等

◇料理屋七八軒酌婦◇は既に十五六名も來てゐるさうだから二十日過ぎには幾十人を輸入するかも知れないとの勢ひである然るに此の絶好の漁場にも既に内地から手を廻はして漁獲物の買占めをやるとの噂であるが聞く處に依れば下の關に在る日本水産會社は目下仁川港内にある佐賀縣下より出漁の漁船數十艘に對し會社側から段々投資して漁獲物買占の契約を準備しつゝあるが朝鮮水産界の爲には寧ろ寒心しなければならぬ

◇近年益々名を爲し◇て來た屈業島の漁況は汎く注目さるゝ一異觀であるが本年も亦二十日以降になつたら延平の盛漁季に見るそれの如く萬餘の獲物は潑剌として海面に躍り喜び溢るゝ漁夫の白粉の群は一夜に千金を惜まぬ勢で漁夫を擽して不景氣知らずの別天地が展開さるゝだらう（仁川）

仁川と檢穀

京畿道管内に於る各檢査所の取扱へる六月中の米穀檢査總數は輸出玄米一萬七千百六十三叺仁川搬出玄米四千二百七十八叺輸出大豆七千七百七十一叺仁川搬出大豆六十五叺なるが大體に於て穀數移動閑散期なるだけ其の數量は減少せり其の成績に就ては概して良好なるものゝ如く輸出玄米中再調を命じたるは容量不足に因るもの四百三十四叺包裝不良のもの八十二叺夾雜物多量等に依るもの一千百九十一叺合計千七百七叺あり輸出大豆の成績は頗る良好にして再調を命じたるは僅に夾雜物多量に依る二十二叺に過ぎず今其の成績數量等を各檢査所別に掲ぐれば左の如し

◆移出玄米 左の如くなり

檢査所	叺數	特	一	二	三	不合格
仁川	[illegible]	[illegible]	一	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平澤	[illegible]	一	一	[illegible]	[illegible]	[illegible]
水原	[illegible]	一	四	[illegible]	[illegible]	[illegible]
烏山	[illegible]	三	一	一	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

此の生産物別を掲ぐれば仁川五千百十五叺安城二千七百十叺振威三千百一叺水原一千六百三十七叺忠清南道三千三百三十一叺黄海道七百六十九叺全羅南道五百叺而して其の仕向地は大阪九千八百六十四叺釜山五千四十八叺大分八十三叺金郡九十九叺等なり

◆搬出玄米 は平澤二千四百五十六叺水原一千七十四叺烏山六百四十八叺にして計四千二百七十八叺内三等合格品一千九百八十七叺外の二千二百九十一叺は全部不合格なり而して仁川搬出米の生産物を調査すれば振威郡一千二百七十六叺安城一千百十四叺忠南牙山郡二百八十五叺利川郡三百五十八叺水原郡一千二百五十三叺なり

◆移出大豆 は總數七千七百七十叺之を各檢査所別に掲ぐれば

檢査所	總數	特	一	二	三	不合格
西氷庫	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	一
高浪浦	[illegible]	一	一	六	[illegible]	[illegible]
水原	[illegible]	一	一	一	[illegible]	[illegible]
平澤	[illegible]	一	一	一	[illegible]	[illegible]
仁川	[illegible]	一	一	一	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

之等の生産地は忠清北道四千四百九十九叺江原道二千五百三十五叺慶尚北道二百九十四叺水原郡百七十六叺坡州郡四十九叺振威郡八十九叺黄海道六十六叺其他にして仕向地の主なるは大阪四千百六叺釜山一千二百九十一叺下關一千百九十叺門司一千百叺等なり（仁川）

仁川の出超 九十萬圓に及ぶ

六月に於ける仁川貿易額は輸移出入合計四百五十四萬一千三百四十圓にして内輸移出二百七十萬七千三十五圓輸移入百八十三萬四千三百五圓にして出超八十七萬二千餘圓を算出せり之れ六月中に於て朝鮮人蔘の多額の輸出ありしに依ると一つは概して輸移入の尠かりしに因れり而して前年同期の貿易額に比すれば輸移出百二十五萬一千三百三十七圓輸移入八萬八千八百九十六圓の何れも增加を示せるが之等は主として價格の騰貴によるべしと因に輸移出品中重なるものを掲ぐれば人蔘百五十萬[illegible]千百四十七圓米九十七萬五千三百五十八圓大豆二萬八千百十六圓[illegible]二萬五千四百八[illegible]六十四圓其他の雜品[illegible]五十三圓等なる[illegible]移入品の重なるは支那産麻布[illegible]一萬四千圓[illegible]七萬七千圓[illegible]金巾及び生シーチング[illegible]七萬一千圓[illegible]ダ[illegible]七萬四千圓[illegible]食鹽六萬七千圓[illegible]六萬三千圓[illegible]寸四萬七千圓[illegible]四萬二千圓[illegible]金巾及び晒シーチング四萬[illegible]セメント三萬八千圓[illegible]十三萬四千圓等なり（仁川）

平南の稻作

◆水稻作況　平安南道に於ける大正七年の水稻作付反別は五十萬六千四百三十四反歩にして前年大正六年に比較すれば五百五十八反を增加し昨今已に挿秧を了し北接の[illegible]成績極めて良好なりと（平壤）

漢川と漁港 平南一の漁場

平南唯一の漁場として前途に望みを嘱せる漢川浦は近來漁船の輻輳甚だしく[illegible]之が爲め同浦に避難せし漁船約二百隻の多きに達せしが之等の點よりして同地には漁港の必要最も急を要すべきに就き本月四日より[illegible]大田技手外一名は同港に[illegible]一本松附近海岸約四千坪を漁港とすべき計畫にて實地調査を開始しつゝあるが工費は約三萬圓の豫定なる由而して本漁港の起工さるゝに至らば同地方一帶の殷賑は見るべきものあるべしと（平壤）

黄瀬隧道貫通

鐵道工業株式會社の請負にて作業中なりし黄瀬隧道は曩に一部の崩壞被害あり一時工事の進捗を妨げたるやの觀ありしも去る四日午後六時半を以て坑道の貫通を見たり同隧道は延長二千三百四十三尺なるが過般崩壞したる箇所は土砂搬出と同時に防禦を嚴重にし着々復舊工事を進めつゝありと（[illegible]）

繼子を置去に 夜逃げの夫婦

仁川花町二丁目に花工業の吉村善三郎（三八）と云ふ頗る飲んだくれが居た連れ添ふ妻お何さへ似たもの夫婦の例への如く氣隨氣儘に[illegible]に贅れ込んで酒を飲むでは犬も喰はぬと云はれた夫婦喧嘩の[illegible]らぐる事も多かつた[illegible]今年八歳になる女の連子がある[illegible]を分けぬ善三郎に取つては可愛い[illegible]が無く[illegible]になつて仕方がない果ては

◇可愛らしい繼子虐め◇に可愛い八歳の少女が泣く[illegible]く[illegible]稀ではなかつた[illegible]に[illegible]してゐた夫婦は此の兒を[illegible]何にかして手放したいと[illegible]果一策を案じ出した[illegible]

八十何錢落して 廿九圓拾へる人

七月四日の午後七時頃であつた仁川府の[illegible]といふ人が[illegible]の[illegible]角から歸る途中[illegible]八十何錢か這入つた紙入を落した今夜くの事である[illegible]から探しに行くと自分の落した紙入が在つたのみならず尚ほ其外に一個の紙入口を發見した拾ひ上ぐると中には現金が二十九圓餘這入つてゐたので早速屆け出たが落し主は慶田組員の某と判つて拾ひ主が謝するを無理に謝禮金三圓を贈つたとの事である（仁川）

張三李四

◆豺の被害頻々たり◆ 平南陽德郡温泉里にては張[illegible]二女永善（二）が豺に咬殺され同郡九龍面[illegible]方にては豚一頭を同じく豺の爲めに咬へ去らる

◆犬が妾の急を救ふ◆ 同郡同里金禹俊の妾韓姓女（三）が用便中便所内へ豺が來り韓女に咬付かんとせしを同家の飼犬が豺に吠付きて逃走させたりとは感心

◆豚前の金品を拐帶◆ [illegible]二番地飲食店お多福方雇人金玉（[illegible]）は同家料理人久保田某の金品を竊取逃走して[illegible]まで行きしが[illegible]

◆四[illegible]の獨身者會◆ [illegible]ホテルにて同地の獨身者會[illegible]

◆一等賞には自轉車◆ [illegible]

◆野球と庭球大流行◆ [illegible]

◆不運の[illegible]◆ [illegible]

◆親子の阿片密輸入◆ [illegible]

◆旅館の女中溺死す◆ [illegible]

◆狂ひの伊行方不明◆ [illegible]

◆感心なる鮮人二人◆ [illegible]

東京大相撲 木戸割引券

（仁川興行中）

京城日報愛讀者にして此割引券御持參の御方は卅錢の木戸料を廿錢に割引致候

後援　京城日報社

寫眞 [illegible] 京城日報寫眞製販部

電氣治療機の發明 ▲五分間で効能現はる ▲不思議に諸病を治す [illegible]

（乙の圖）

電燈機械 電信機器 工事業　大阪市南區阪町 吉田電氣商會 電話南二八二九番 振替大阪六六七九番

一千反限り 高貴織 正金代金指環呈進 [illegible]

清酒商標圖案懸賞募集

一、稻姫 一等 金五拾圓也

一、灘勝 一等 金五拾圓也

一、募集ノ商標ハ右二種トス

一、募集期間ハ七月一日ヨリ同月廿一日迄

一、募集區域ハ朝鮮全土トス

一、圖案用紙ハ縱四寸六分横五寸二分

一、其他ハ總テ應募者ノ任意トス

一、發表期ハ大正七年八月十日トス

稻姫 河野正宗 灘勝　釀造元　群山港横田町 河野酒場　電話二三六番 振替京城二四八三番

路加式 噴霧器

消毒兼用消火器 其他各種

大阪西區西長堀北通一丁目 路加商會 振替[illegible]一六四八番

開業廣告

時下各位益々御清穆奉賀候小生儀今回合名の上滿洲所產株式會社を辭し東亞産業株式會社を組織し其定款に依り各種事業の施行を期し[illegible]開業の運に相成候就ては今後共倍舊の御愛情を得り度奉願上候

大正七年七月

大連市三河町 電話二二八七番

東亞産業株式合資會社（資本金百萬圓）

無限責任社員 社長 村岡角輔

支店 奉天、撫順、鞍山站（準備中）

營業科目

一、農事經營及緬羊の飼育　一、土地建物賣買仲介並管理

一、各種商品賣買及委託販賣　一、金錢貸付介及其保證

一、燒酎製造、煉瓦及瓦製造（玉縣撫順）　一、建築材料販賣

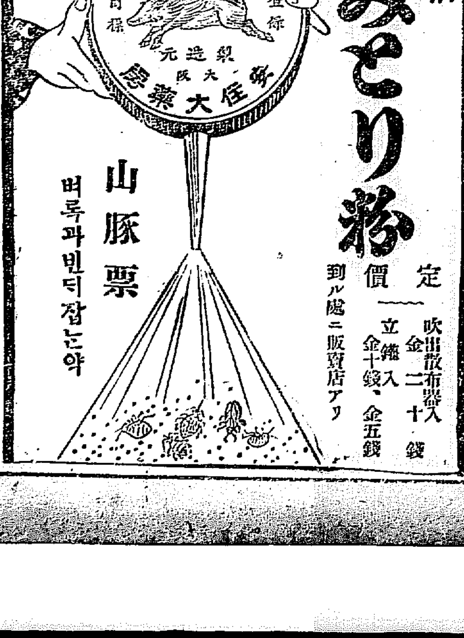
帽子原料附屬品商 江[illegible]商店 大阪高麗橋東詰 電話東一六一・三六六三

淋病新藥 リコール

絽羽織 [illegible] 植西呉服店

純中ノ純 精中ノ精

猪印 のみとり粉



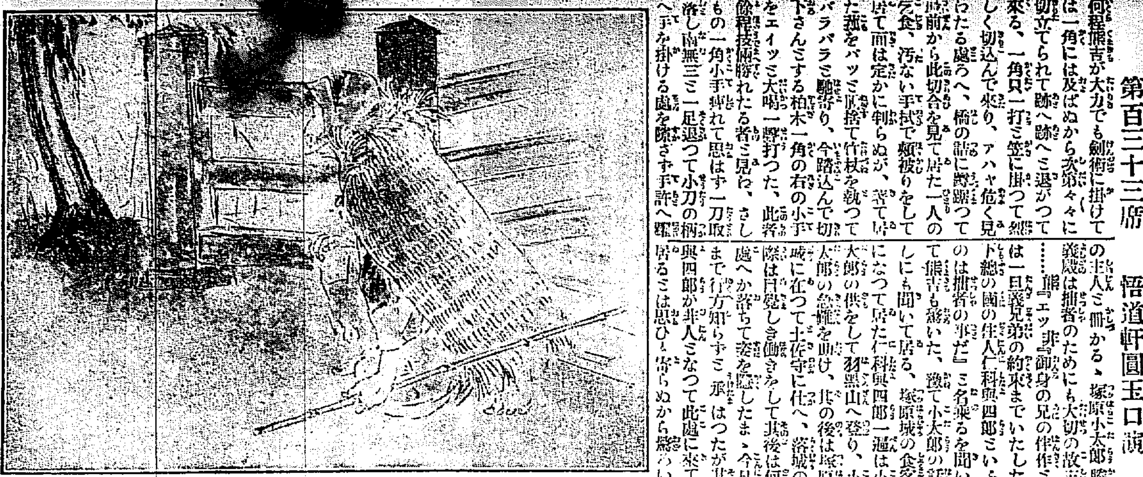
定價 吹出散布器入 金二十錢　立錐入 金十錢、金五錢

到ル處ニ販賣店アリ

[illegible]京城日報編輯局附者文藝 苑報

塚原卜傳

第百三十三席 悟道軒圓玉口演



何程熊吉が大力でも劍術に掛けては一角には及ばぬから次第々々に切立てられて跡へ跡へと退がつて來る、一角只一打と笠に掛つて烈しく切込んで來り、アハヤ危く見ゆる處ろへ、橋の詰に蹲踞つて前から此切合を見て居た一人の乞食、汚ない手拭で頬被りをして居て面は定かに判らぬが、着て居た菰をバッと脱捨て竹杖を執つてバラバラと馳寄り、今踏込んで切下さんとする柏木一角の右の小手をエイッと大喝一聲打つた、此者餘程技倆勝れたる者と見ね、さしもの一角小手打れて思はず一刀取落し南無三と一足退つて小刀の柄へ手を掛ける處を隙さず手許へ躍込んだ彼の非人、一角の利手を取つて翻筋斗と投げ倒し、起上らんとする奴を起しも立てず落ちたる一刀を拾ひ取つて肩先きから血烟り諸共斬付けたに依つて、アッと一聲苦しき叫びを殘して一角は息絶れた様子、熊吉ホッと吐息して

熊『危ふい所を御助勢下すつて千萬忝けない、失禮ながら人體に似合はぬ天晴な御技倆……』

非『アハヽ、俺は見る影もない乞食だが之しきの者が二人や三人出たとて恐るゝ様な人間ではない、弱い奴だ只だ一太刀で眞二ツになつて了つた……』

熊『こゝに御助勢は忝けないが、何の恩誼もない私を何うして助けて下すつたか、定めし由緒ある方の成れの果てゞあらうがこうか、御姓名を聞かして貰ひたい』

と非人が被つて居た手拭を取つて

非『イヤお尋ねなくとも俺の方で名乘らなければならぬ御身は秋山伴作の舎弟熊吉殿、貴公の主人と仰かる、塚原小太郎殿、義殿は拙者のためにも大切の故主……』

熊『エッ』

非『御身の兄の伴作とは一旦義兄弟の約束までいたした下總の國の住人仁科與四郎といふのは拙者の事だ』

と名乘るを聞いて熊吉も驚いた、豫て小太郎の話しにも聞いて居る、塚原城の食客になつて居た仁科與四郎一通は小太郎の供をして羽黒山へ登り、小太郎の危難を助け、其の後は塚原城に在つて土佐守に仕へ、落城の際は目覺しき働きをして其後は何處へか落ちて姿を隱したまゝ今日まで行方知らずと思つたが其與四郎が非人となつて此處に來て居るとは思ひも寄らぬから驚いたのも尤も

熊『豫て噂には承はりました貴方は仁科與四郎殿……』

與『何うして此處に斯うして居るかと不思議に思ふのも尤もだが實は塚原落城の後、一太刀なりとも正を恨まんと姿を變じて城中へ忍び入り彈正に近附いたが、武運拙く見顯され、已に一命を捨てんとしたる處、幸ひに落延び、其後は國中を廻り様々に姿を變へ、遂に乞食非人と身を落して面體を包み再たび城下へ紛れ込んで好機會がなと窺つて居たが其隙もなく打過ぎした、圖らず今宵今此處にて一角と御身の出合ひ、其話の中に秋山伴作の弟といふ事が耳に入つたから一旦約束したる義兄弟の伴作の弟、殊に緊がる弟の熊吉なら拙者に取つても同じ弟、助けて共に主人小太郎殿のために力を盡さねばならぬと存じ此處へ飛出して來たやうな譯だ、思へば不思議な因縁ではないか』

と初めて話す與四郎の言葉に熊吉も

熊『實に思ひ掛けない出合でござる之れも兄伴作の引合せでございませう』

と兩人顔を見合して大に喜びましたが、與四郎が

與『幸ひ衞章は取戻すことが出來たから之れは拙者が預かつて小太郎殿へお屆け申さう、御身は此儘城内へ戻り、何喰ぬ顔をして居るが宜い』

熊『成程それが宜しうございませう、それでは貴方が箕輪へお出下さるか……』

與『させる功なき拙者、せめて此使ひを仕了せるが忠の一ッ、御邊は城中に止まつて飽まで彈正の氣に入るやうにいたし、油斷をさせて置いて貰ひたい』

△中元贈答品は何がよい 思案召さるな!!

砂糖 桶入 五斤入 七斤入 十斤入

其外好適品各種取揃有之候

千利堂菓子舗 本店 大門通 電話二七一〇番 本町支店 電話一九三〇番

◉仁川と相撲

◇十三日と十四日◇

既報一行の東京大相撲は京城打ち揚げ後元山にて二日間興行十二日仁川乘込みの豫定なるが此の間に於て雨天あらば降雨日數だけ從つて順延すべし仁川に於ては相撲場所たる仁川旅館前築港埋立構内には既に掛小屋も殆んど竣成し近く桟敷の申込續々として賣り切れんとし景況なるが入場料は三十錢なるが桟敷は四人詰(一等)七圓(二等)六圓(三等)五圓(平土間)六十錢なりと(仁川)

●鹿兒島縣人會 仁川在住鹿兒島縣人は十二日午後六時より仲町洋食店に於て縣人懇親會を開きオイドン黨の氣を吐くべしと會費二圓五十錢當日持參、通知漏れの人あるやも計り難ければ奮つて參會ありたしとなり(仁川)

四平街通信

●技師長と營業課 藤村技師長は先に鄭家屯より伯音太拉を經て開魯に到る間を實地調査の爲め出張せるが一行は支障なく目的を遂げ其より洮南府方面を調査すべく方面を轉じ目下同府に滯在中と云ふ又營業課長竹中氏は北京に於ける借款鐵道營業主任會議終了を俟つて山東鐵道視察を試み本月末頃歸局すべしと云ふ

暦

七月十三日 土曜 九星 舊六月六日 辛酉 本命六白乾 前大安

▲六白 ▲七赤 ▲八白 ▲九紫 ▲一白 ▲二黑 ▲三碧 ▲四綠 ▲五黄 [illegible]

演藝案内

黃金館 電話二三六七 二三六六

大然色活動寫眞 ▲當る七月十二日より特別大興行 ▲米國ペテランハウザー社大作 連續大活劇全二十三篇四十六卷 三百萬弗の秘密 第三四篇四卷 ▲活劇『八百八狸』全四卷 [illegible]

壽館 京城本町 電話一〇五〇

▲現代自然の滑稽劇 ▲新舊喜劇 桔梗家吉右衛門一派 ▲當る十月七日より(四日目) [illegible]

◉初日大入御禮 京阪語樂會 浪花館

落語 今回更に若手數名新加入 △大切 新作落語劇

壽座 京城壽町 電話五七八

新派 さゝ浪會一行 [illegible]

有樂館 早川演藝部直營 活動寫眞常設館

▲當る七月十二日より公開 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三

▲當る七月十二日より特別興行 [illegible]

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番

▲當る七月十一日より [illegible]

大連燒酎

特約販賣店

仁川 河野本店 / 京城 同 支店 / 木浦 阿邊橋商店 / 同 山口號本店 / 同 山本酒店 / 群山 山口號支店 / 同 長谷川商店 / 釜山 増永商店 / 同 山邑支店 / 鎮南浦 吉富商店

八木田博士御處方 島田博士御鑑査

アナタの胃病にはマーゲン

強胃消化錠

本劑の特色 二博士確證の本マーゲンは作式胃病藥と異り其卓効は根本的に胃の機能を盛んにし消化を佳くし食慾を増し胃弱を治し癒し胃を丈夫にす

大阪市東區上本町五丁目 田畑保藥房

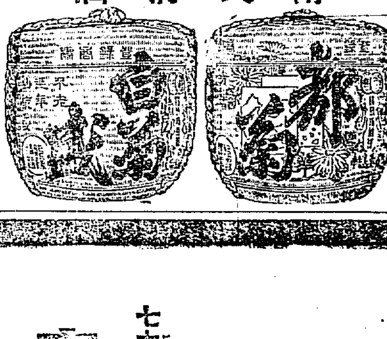
リウマチ

井筒屋油店 東京下谷 振替東京一九六〇二番

最も良なる 原産地大根種子 成田留三郎

雲母買入 名古屋市東區代官町一 千倉屋

醇良清酒



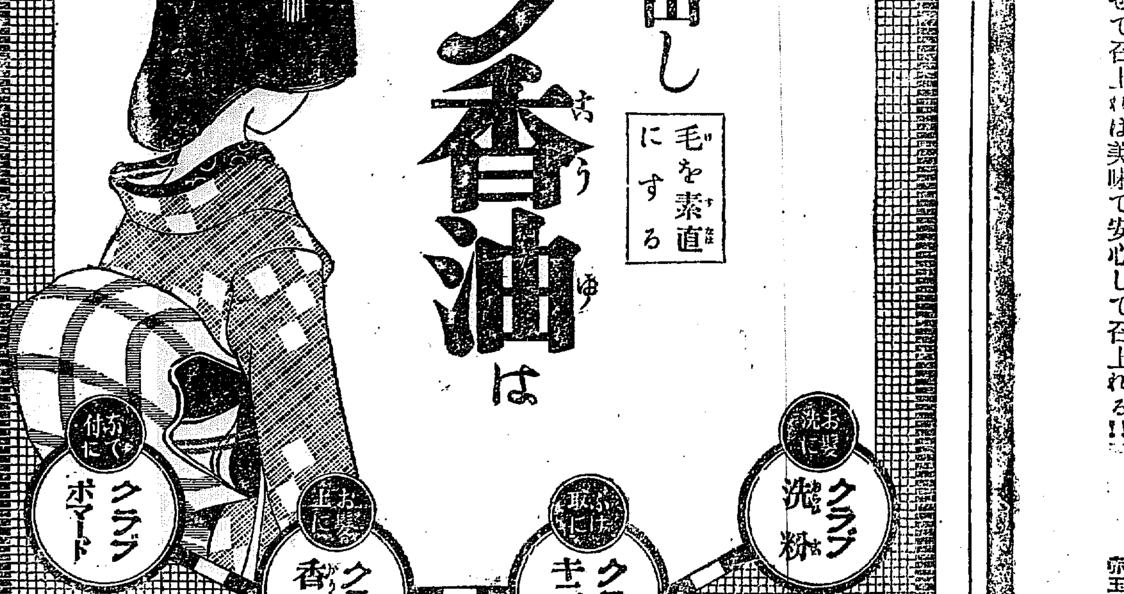
大阪府堺市 釀造元 肥塚源次郎 特約販賣店 京城本町二丁目 佐藤牧太郎 電話長二九番

李王職御用 牛乳 ニウソ 洗石粉 東亞牧場 京城蓬萊町四丁目 電話五二一

一番よく 髪の艶を出し 毛を素直にする クラブ香油は

椿油、山茶花油、扁桃油、橄欖油等を主要な原料とし之にクラブ獨特の美髪劑と高貴な香料とを加へて謹製した純植物性の美髪香油で香油中最も評判好く畏くも

皇后宮職御用の光榮を拜して居ります……



夏痩どころか 此元氣!!

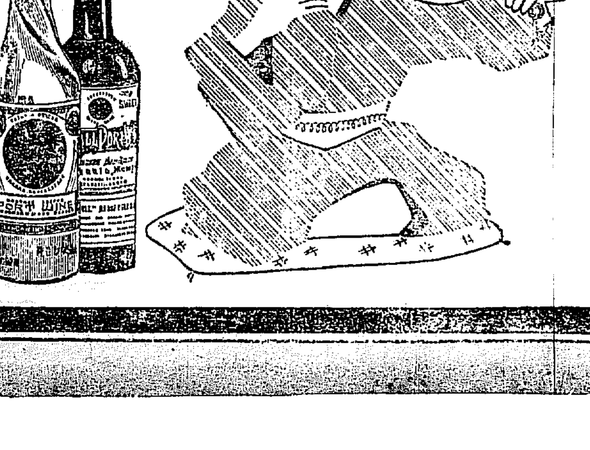
朝夕の一杯は百藥に優る

七大醫學博士の賞讚を博せる純生粹葡萄酒

赤玉ポートワインで

此夏も健康の保全が出來る!!

殊に夏の衛生に殺菌力強大は赤玉ポートワインを氷に一滴サイダーに一滴混ぜて召上れば美味で安心して召上れる!!



類似品あり 赤玉印に御注意

汽車

京釜線(南行) 同(北行) 京義線(北行) 同(南行) 京元線(北行) 同(南行) 京仁線(仁川行) 同 湖南線 [illegible]

京城日報

本紙定價　壹部參錢▲壹ヶ月七拾五錢▲郵送前金▲參ヶ月[illegible]▲六ヶ月[illegible]▲壹ヶ年[illegible]▲郵券代用二割增
廣告料金　七號十五字詰一行八十錢▲二號[illegible]
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　編輯用長六千九[illegible]番　守衛用長三千[illegible]番　振替京城三〇〇番

[illegible]版

[illegible]年こ甚だしき軒輊なきが如し[illegible]期中は其の經過順當なりしがミュ[illegible]

▼佛蘭西　四月の大部分及び五月の初旬に於ては寒冷を催し[illegible]度に比しドローム州は一割乃至二割[illegible]信賴よりの報道を綜合すれば昨年[illegible]一九一七年度の掃立數量は大約[illegible]一萬四千オンスなりき桑葉は初期に[illegible]り增加せるが如きも之が割合は[illegible]

▽伊太利　伊太利に於ても[illegible]綜合するに農業勞働者の拂底より伊太利南部及び中部の早場に在[illegible]目下の處豐富なる見込な[illegible]は極めて良好にして目下各地こも頗る滿足なる狀態にて進行中なり

▽極東　支那上海五月十五日[illegible]

露國ミ大公蹶起か

在京　一記者

◎露國廢帝暗殺の報は一時世上の耳目を聳動したるも眞僞未だ確かならざるに今又露國ミハエル大公が謫居を脫出し彼は露國の秩序を回復し且つ其の復興を圖るを以て[illegible]むことを命じ[illegible]國民に[illegible]且つ[illegible]を加せし總ての國民に對して大號令を行へりとの報あり、是より先きペトログラードの新聞にはコルニロフ將軍ミカレヂン將軍ミが獨軍ミ共に莫斯科を占領しニコラス大公を皇帝ミ布告したりミの報道を掲載したることもありし程にて浮說流言紛々たる露國內の事なればミハエル大公蹶起の報道も未だ容易に信ず可からずミ雖も最近露國周圍の形勢如何を察すれば或は事實に近き說なるを認めざるを得ず

◎蓋しレニン、トロツキー派がケレンスキー內閣を顚覆して政權を掌握せしより露國を擧げて秩序紊亂、紀綱廢頹、潰裂四出殆んど收拾す可からざるの極に達し一般の良民が無政府の狀態に苦み最近に於て多數の國民漸く過激派政府に反抗するもの多きを加ふるに至[illegible]即ち客月十六日莫斯科發の[illegible]電報に據ればドン及びクバン兩哥薩克政府が過激派及び無政府黨に對抗して相互援助を保證する規約を結び南露諸州ミの聯絡に就て企畫中なりミの旨を宣言せるが如き又た中露のヨホフ及びウファのスラトウスト地方に反過激的動亂ありて過激派が潰走し或は逮捕せられたりミ云へるが如き又た七日着電報に據ればチエック軍が五日ニコリスクに突進し勞兵會支部過激派の陣營等を占領し反過激派人民が歡呼して之を迎へ赤衛軍、獨墺俘虜軍はハバロフスクに向つて逃走せりミ云へるが如き各地到る處反過激派熱の勃興しつゝあるを推知するに足るべし

◎顧ふにミハエル大公は如何なる軍隊を擁し如何なる地方を根據ミし如何なる方面ミ其の聯絡を保ちて蹶起したるや否や、電報簡にして未だ明白ならずミ雖も大公は革命當初に於て帝位繼承の權利を行使せしも自ら之を放棄せし程にて思慮周密の人物たるに於て今回大公が決然起て露國の復興を自ら任じレニン內閣を顚覆せむことを期するに至りたるは其の決意の容易ならざるものあるを知るに足るべく、隨て其の一擧一動は吾人の刮目に値するもの無くんばあらず、吾人は姑く記して其の成行如何を下せむミ欲す

醜所より配所へ

『承前』ロマノフ一家

私の引率した護衛兵は三十五名より成り內十五名は騎兵二十名は步兵であつた。此外途中の要所々々には僅少の巡邏隊が配置されてあつた。此の遽しい出發は多少廢帝を疲勞せしめた、概して此の一年間廢帝は極めて健康であつた。こいふのは寂都ミ異つて閑靜な田舍の空氣に觸れ氣の霽にも時には薪割りをしたり時には雪掻きをしたり皇帝時代に夢にも思はなかつた勞働の爲に手にはタコさへ出來る位に運動した結果に他ならぬ。廢后の方は廢帝よりも餘計に疲勞して居たが努めて其を現はさない樣にして居た、廢后は常に傲慢に構へて餘り顏を見せなかつた、始めロマノフ一家は市々から無禮ミ嘲罵ミ侮蔑ミを受けはしないかミ恐れて居るもの丶如くであつた、併しながら護衛兵は總て毅然として不敬的或は侮蔑的の言動は堅く之を禁じてあつた爲廢帝一家に對する態度は一般國民に對するミ少しも變らなかつた、廢后は大きな眼で吾々をギロギロ睨んで居たが廢帝の方は直に慣れて平生ミ異なる所はなかつた。チユーメンからは汽車だ此處から護衛兵は百六十名に增したがエカテリンブルグに達するまで何事も起らなかつた廢帝は旅行中も平素の如く健康であつたが家族同伴ミ天候の良好ミは非常に氣にかなつたらしかつた、吾々は政治問題に關しては一切口を開かなかつた、廢帝自身も亦政治問題は全然興味を持つて居ないかの如く彼の注意は全く家庭の方に向けられて居るやうであつた、廢后の態度は是ミ正反對である彼女は狡猾で傲慢である且廢帝に對して强い勢力を有して居る旅行中は常に閉ぢ籠つて終日室から一步も外に出ない。加之吾々の好意は之を少しも受けやうこはしない。極端な一例を擧げて見るなら汽車中の廊下は非常に狹苦しくて双方から二人が出遭つた場合は一方の人が側に寄つて道を開いてやらなければならぬが廢后は何人にも道を開いて貰つて通るやうなことは欲しない。だから彼女は毎朝四時か五時には起きて未だ人の寢て居る時分に洗面所に行く若し歸りに廊下で番人でも見やうものなら直に引つ返して番人が廊下から出て仕舞ふ迄は洗面所から出ないこいふ風である。エカテリンブルグでは廢帝は其一族ミ共に大きな板塀を周らした離れ家に住むことになつた。トボルスクの配所は未だ幾らか暖かつたが此離れ家は非常に見すぼらしく前者ミは比較にならぬ程のものである。監視兵も增加せられトボルスク時代に比して一層嚴重に監視せられて居る(完)

露國市場の將來ミ諸問題(十)

對露貿易に關する諸問題(四)

●米國銀行制度の狀況●

今次の米國の戰時施設の顯著なる運行は主ミして聯邦準備制度の眼目なり之れ朝野の努むる所なり而して管理局は統一的命令を爲し居るものミす、從來合衆國國立銀行の最大缺點は預金準備金の散在せることミ及び預金準備金の主ミして紐育市に集中せられたることなりしが今[illegible]度に依り散在せる預金を[illegible]こミゝなり從つて準備[illegible]は遂に少額にて十分ミなり[illegible]し貸出能力大に加はりた[illegible]從來國立銀行條例にては[illegible]は手形の引受を爲すことを得ざりしを聯邦準備銀行は手形の再割引を爲すこミゝなり同時に加盟銀行に手形の引受行爲を許可せり是れ亦大なる改革なり又政府の聯邦準備紙幣を發行することを得、又自己の聯邦準備銀行券を發行することを得、前掲は、因に米國準備銀行の狀況を記せるのみ。流石に獨逸は能く之等の狀勢を察知せしが故に露國顧客に對し大量の商貨を長期に亘りて掛賣を行ひ敢て怪まざりき、米國の實業家にして苟くも對露貿易を擴張せんミ欲するものは須らく茲に留意し獨逸の採れる方策の實行に付て豫め企圖する所なかる可らず。●●●●●

●主なる露國商業銀行及其支店●

露國商業銀行中主なるもの八あり即ち左の如し▲

銀行名	資本金(留)	本店所在地	支店數
彼得具國際銀行	六〇,〇〇〇,〇〇〇	彼得具羅土	[illegible]
露國外國貿易同	[illegible]	同	[illegible]
アゾフ、ドン商業同	五五,〇〇〇,〇〇〇	同	[illegible]
露亞銀行同	四五,〇〇〇,〇〇〇	同	[illegible]
協同同	四〇,〇〇〇,〇〇〇	莫斯科	[illegible]
露國商工同	三五,〇〇〇,〇〇〇	彼得具羅土	[illegible]
西伯利亞通商同	三〇,〇〇〇,〇〇〇	同	[illegible]
ボルガ、カマ商業同	一八,〇〇〇,〇〇〇	同	[illegible]

▲こ等各銀行支店所在地は孰れも露內の大商業中心地例へばアル[illegible]ウイル、アストラハン、バクー、オールドブハラ、エカテリノスラブ、エカテリンブルグ、エカテリノーデル、イルクック、キシネフ、キエフ、カザン、コーカンド、ニヂニノブゴロド、ノボニコラエスク、ノボロシイスク、オデツサ、オムスク、リガ其他にして其設置數或は四乃至五時に七個に及ぶ事あり尚此他の都邑三百に亘りて普く支店を設置せり、今銀行別に付き其の大體を示せばアゾフドン商業銀行は高架索地方全般に亘り例へばアツシヤバード、バクー、バツーム等に支店を分布し西伯利亞通商銀行は全露の大商業地のみならず特に西伯利亞の各地例へばアクモリンスク、オムスク、トムスク、トボリスク其他に又ボルガ、カマ銀行はボルガ及びカマ河流域地方に亘りて支店を分布す

時局ミ鑛業界の契約問題(七)

辯護士　吉武繁

只採掘に關する管理經營する監督權が鑛業權者にある場合の契約は有効にして、[illegible]る場合即ち德大に採掘權利を與へ鑛業權者に於て管理せざるこきは無効の契約こなる、尙進で其德大が採取したる鑛物は採取費用又は採取勞務は何人なりしミ雖も、鑛業權者の經營の下に獲得したる者なれば即ち鑛業法上の解釋ミしては鑛業權者の所有に歸屬すべきものである、何こなれば其鑛區なり鑛物の採取をなす事を法律上認むるものは鑛業權者のみにて他に何人もあらざればなり〔大正五年十一月判例〕然るに採取したる德大が自己の費用を以て獲得したるものが悉く鑛業權者の所有に歸屬し終れば、何人も德大たることを希ふものはない、夫故に遂に鑛業權者ミ德大この間に其鑛山より採取したる鑛物は一旦鑛業權者の所有に歸するも、夫れミ同時に該鑛物に對する所有權が採取者たる德大に移轉すべき旨の契約を締結して置けば德大も其採取したる鑛物に對する所有權を取得する事を得るのである(高等法院大正六年十一月判例)語を替へて言へば德大の採掘したる鑛物が一旦は鑛業權者の所有となり、然る後に其鑛物を德大の方に賣却し、其代金は德大の出資勞務ミ換算して相殺し、當事者間の利害關係を調和せしめる契約の締結方法を取るなれば有効の契約で即ち鑛業法及び前述の判例に抵觸せざる契約方法である、他日[illegible]こか回復する事の出來ない[illegible]いふ事はないのである、或論者は斯の如き解釋は鑛業法の精神に違反する、即ち鑛業權者が鑛業權を有せざる德大この契約の下に德大に採掘せしめ利益を計る事の契約は、例へば契約上鑛業權者の管理監督云々ミあるも德大が採取したる鑛物が鑛業權者の所有に歸するミ共に、該所有權を採取者たる德大に移轉せしむる事の契約は有効であるこせば、實際前述の鑛業法の根本精神を徹底せしむるに判例の趣旨が薄弱となる樣である、何こなれば契約上の字句の形式は如何こもなる、實地經營ミか監督云々は實際上ミ契約上ミは如何樣にもなるが、併しながら高等法院は兎に角鑛業權者の監督の下に於ける德大たる從業者ミの契約は前述の如く契約自由の原則を認め、右樣の趣旨に於ては有効に契約する事が出來る、夫故に先づ鑛業權者は此點に安心して、德大從業者ミ契約をなし、事業を進行することが出來るこ思ふ、是れを以て德大契約問題は玆に止めることにする(終)

並行線（三十三）

瀧閑村

待設けない破壞の日が來た。一切破滅の時は遂に來た。宣太郎の手には雛子の消息は遂に一回も入らなかつた、宣太郎にして見るこ、自分ミ雛子この間は暗默の間に山本社長も認めてゐるもの丶如く思はれた、其雛子から音信が無く、社長の手紙も思做しか通り一遍のやうな氣がした、そして一方には高山から誘りかの手紙が來るのは、宣太郎には堪へられない苦痛だつた。

苦痛は是に止まらなかつた、潑剌生々の氣に滿ちた樹々の若葉は朝夕宣太郎を壓して已まなかつた最初は快く感じた樹々の綠は其色が濃くなるにつれて、次第に宣太郎を威壓せんミした。それに對ふこ遂に重苦しい氣分になつて頭痛を覺るやうになつた。

其不快は日に募つて來た。漲つて來た懊惱は何處かに排出口を求めるのは自然の勢だつた。

『一體俺を山本社長はどの位信用してゐるか、一つ其試驗をしてやらう』

斯うして宣太郎は山本社長に五百圓借て貰ひたいミ申し送つた、當時宣太郎はモウ朝鮮から持つて來た金は盡きてゐる、それに兄の窮狀の幾分をも救ひたかつた、五百圓は少し多過るかも知れぬが、三百圓位は送つてよこすだらうミ云ふ腹があつた、そして早く歸れミ云つて來るに違ひないミ思つた。手は既に筆を執れる程になつたから、それをきつかけに歸鮮しやう、そうしたら頭の痛いのも或は治るだらうミ考へた。

兄の私消金に就ては、おのぶの求所を謝絶した所で、急に告訴するやうな事はあるまい、何故ならば告訴したつて江藤は一文も利益を得ないのみならず、代理店主たる自分の責任を負はねばならない、だからそれは畢竟一つの策略に過ぎない、それよりも自分こしては力めて早く兄の私消金を辨償してやるが第一の方法であるこ考へた、此事は兄にも話したするこ兄は

『お前の云ふのも尤だが、江藤ミ云ふ男は中々我の强い男で思ひ立つミ二無二やる事があるから……俺は覺悟はしてゐるが、まアお前もモウ少し考へてくれ。』

ミ[illegible]で哀願するやうに云ふ、氣の弱い兄ミしては此心配も無理からぬ事ミ思つて、

『さうですね、ぢやあモウ少し猶豫して下さい。』

ミ云つて一時を猶れて來たのである。

併し其手紙を山本社長に出してから、[illegible]の處置は[illegible]てゐた。別な方法を採つた方がよかつたかも知れぬミも思つたりした、だから其の返事を切りに待つた。

豫定の日に山本社長よりの返事が來た。宣太郎はソッミ開く其書を見詰めてゐた。

無佛居士送別會席上(一)

大垣　金陵

四年功績復誰疑。進退況看能得時。他日應無嗟換地。都門驛[illegible]詠驪歌。

學鵬日、前作得適切、後作何等小樓、

古城　梅溪

不復投鞭俗務疑。去留何必只隨時。如今會面知何日。徧使人間歲月馳。

學鵬日、情思不盡、

長谷川　旭畑

鳳將稼雪歸興疑。八道若生同化時。白頭爭兼綠江月。想君他日夢容馳。

驗驗不已柔無疑。自有韶龍變化時。八道山河一覽了。翩然遠向帝京馳。

操雲相得不須疑。好試雄才入洛時。八道風塵已收盡。盍還載筆九州馳。

學鵬日、三首三樣意想、又變又變、第一首殊推條暢、

栗原　華陽

自稱無佛任人疑。西走東奔又乘時。不是悠悠歸隱業。洛陽別有宿心馳。

學鵬日、輕淡、

江原　如水

杜宇促歸何用疑。薰風五月雨來時。依君傳語王師急。朔北如今羽檄馳。

學鵬日、借時事來、而敍惜別之意、其實大有所因也、

中西　吉竹

送君京口日西傾。萬里驅馬去路生。忍聽啼鵑雲外邊。離歌唱罷不堪情。

學鵬日、情思綿綿、

建築金物 士工用具一切
八角鋼並ニ黑鉛用金網
鐵線 金網 製作販賣
地方御注文ハ迅速ニ御便宜相計リ可申候
京城本町一丁目
直輸入商　佐野彥藏商店
電話百六十三番　振替京城二二〇番

寄宿通ひ部◎自宅獨習部▲男女生徒募集▲卒業後就職責任紹介
好評多大
簿記通信教授
各部共學期毎月開始　大阪天神橋筋西貳丁目二二九
規則見本無料進呈　簿記會計學館

謹啓各位益々御清穆の段奉賀上候扨て弊所左の製品は卸や小賣共特別廉價を以て販賣可仕候間多少に不拘御用命の程偏に奉願上候
植物油
胡麻油　荏子油
大豆油　蓖麻子油
同白絞　棉油
菜種油　東柏油
同白絞　ボイル油
並に油粕
京城南米倉町
京城製油所
電話長一六三〇番　一九一七番　五九五番

麻苧、麻繩、ロープ、綿糸、玉糸、荷造糸、荷造繩引、抱裝材料刷毛類
地方御注文は迅速に御便宜相計り可申候
京城太平通二丁目
卸小賣　(タ)　田端善吉商店
電話一八〇二番

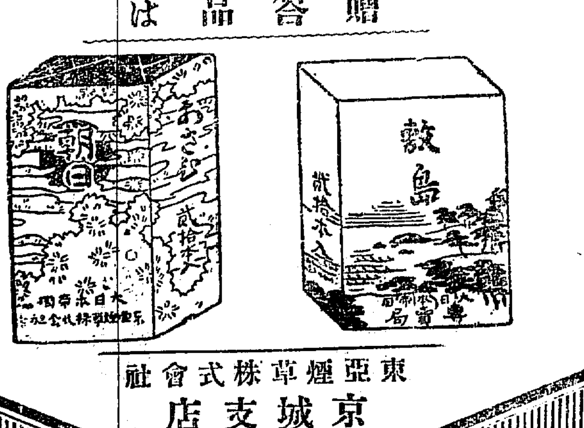
京都帝國大學理科大學教授　理學博士　松井元興先生著
分析化學
下巻出來
菊判全二冊　上巻二圓五十錢　下巻二圓八十錢　小包料金各十八錢
斯學の泰斗松井博士嚢に本書上巻を著はし從來の不具的發達なる分析操作上に明確なる理論を示し以て本邦斯界に新しき運命を附與したりしが今回更に下巻を出して茲に本書の大成を見る[illegible]
東京日本橋區上槇町　發兌　裳華房　振替東京一〇七番
京城本町一丁目　賣捌　大阪屋號　振替京城二〇八六番

一　アスファルトフエルト　各種
一　アスファルト便利瓦（和製マルソイド ラバロイド）　各種
京城永樂町二丁目六〇
徳田商會
電話二三二五番

自動分離機附計量付より百俵迄各種

動力 無 水車 石砂 精米麥機
本社製に斯界を覺醒したる天下逸品トーア式人力精米麥機を發賣し多大の好評を博し今回更に動力用精米麥機を完成し其紀念こして
永久貸附割拂に應じ
御相談各地に特約店を設置す希望者は至急申込あれ
詳細圖入說明書營業案內送呈
大阪西區市岡町
製造元　東亞物產社

△冬になつて一番痛切に御感じになるのは寒い事ミ延て燃料の高價なる事だミ思ひます！
△此二つのものは『ペーチカ』を設備なさる丶事に依つて大に輕減せらる丶のであります！
△『ペーチカ』の設備は急押詰つてからでは間に合ひません、今の內の御計畫が大切であります！
京城府漢江通八番地
ペーチカ築設專門
宮崎組
說明書御申越有次第郵呈
電話龍山五四一番　振替口座京城五四〇九番

贈答品は中元
◇贈つて安心◇


◇貰つて重寶◇
東亞煙草株式會社
京城支店

◎獨暗殺教唆想像
社會革命黨大使暗殺責任回避

七日莫斯科發ウォルフ電報に依れば社會革命黨は獨逸大使暗殺の責任を避け居れるが莫斯科にては革命反對派と過激派との間に戰鬪あり獨逸公報は協商國側が暗殺を教唆せるものと想像し居れり（ストックホルム電報）

◎露國に取りて好運
ケ氏獨大使の死を欣ぶ

ケレンスキー氏は曰く『余は何人の暗殺をも悲しむものなれども駐露獨逸大使ミルバッハ伯の死去に對しては欣喜に堪へざるなり蓋し同伯の死は露國に取りて好運なる出來事にして這は露國の復興を示すものなり獨逸が莫斯科を占領せんとするは今や確實なる事實なるを以て排獨運動は先づ莫斯科より開始さる可し』と（巴里電報）

◎復讐の第一矢
ミルバッハ暗殺と巴里新聞

巴里に於ける新聞は駐露獨大使ミルバッハの暗殺は獨逸の爲めに蹂躙されたる露國が獨逸の壓制に對し加へたる復讐の第一矢にして同時に獨の聲望に大打擊を加へたるものなりと評せり（巴里電報）

◎マジヤル族獨逸人ニ軋轢
セミヨノフ軍に投ず

……方面に於ける過激派軍中のマジヤル族と獨逸人との間に軋轢起り三千のマジヤル族はセミヨノフ軍に投降するものとチタ方面に赴くものとの二派に分裂し過激派軍を去れりと（哈爾賓電報）

◎過激派軍兵勢

ネルチンスク、カルイムスカヤ、ダウリヤに在る過激派軍の兵數は歩兵約八千騎兵千五百尚ほ若干多少の機關銃、野砲、裝甲機關車等にて其大部は獨墺兵より成り殘餘より送られたる若干の水兵をも混じ居れりと（哈爾賓電報）

◎チ軍武器押收

イルクックに於けるチエック軍は將校團と共に過激派軍の武器を押收し貝加爾湖畔五十餘の隧道はチエック軍之を占領し居れり（哈爾賓電報）

◎ミ大公進軍打消

キエフ（小露）よりの報道に依ればミハエル、アレキサンドロウイッチ大公は露國皇帝として擁立され莫斯科へ向け進軍中なる旨傳へられたるが伯林電報は右報道の全然虛報なるを傳へたり（倫敦電報）

◎カ將軍の前進

……ノフ軍と同じく反過激派軍隊を引率せるカルイムコフ將軍はハバロフスクに向つて前進せるが右はチエック軍との聯絡を執らんとするもの、如し（浦鹽電報）

◎チ軍優勢敵逃走

ニコリスクはチエック軍の手に歸し赤衛軍は鐵橋を破壞しハバロフスクに逃走せり市街の重立たる商店、電燈、寺院は掠奪又は破壞されたりチエック軍が鐵橋を修繕し入市を見たるは七日未明なり過激派軍の死傷三百チエック軍の死傷二百を出せるが負傷者は浦鹽に護送されたり（浦鹽電報）

◎チ軍 グロデコフ占領

チエック軍は七日グロデコフを占領しボクラニチナヤも引續き反過激派の手に歸せり（浦鹽電報）

◎兩軍近く激戰

ハバロフスクにて過激派軍三千を集め獨墺俘虜二千名之に參加し獨逸大尉フオンデルツヒ之を指揮し居るが不日チエック軍との間に大激戰起らん（浦鹽電報）

◎大阪より

行詰として最も需要旺盛なりこの方面には特種の絹織物需要増加を來し需要も漸々増加し來り東洋南洋の方面……後での盛況なるべしと……公課……船舶欠乏……値上……郵船會社にては……長崎……五十志位にて妥協……解決は至難と云ふべく結局九百……免れず前途尚ほ……の外なかるべし（大阪電話）

◎ホルワット將軍宣言

ホルワット將軍は九日グロデコウオに於いて極東政府の樹立を發表し併せて自己を以つて是が執政官たる事を宣言せり（長春特電）

◎戰爭終結を望む
シ氏の演說—軍事公債案通過

獨逸帝國議會は四日新に百五十億馬克の軍事公債豫算案を通過し其の財源は公債募集に依る事を可決せしが此際は之に反對せり尚シャイデマン氏は述て曰く『外相キュールマン氏は再度に迫られ六月二十四日の議會に於る演說を取消したるが政府にして若し其の初心を貫く能はずんば辭職すべし戰爭は一日も早く終結せざるべからず』と（ストックホルム電報）

◎殖銀株 良好

十六日より募集を開始す可き朝鮮殖産銀行新株は同行設立後最初の一般に普及すると共に漸次人氣を喚起し早くも取扱銀行其他に對し豫約申込を爲す向勘からず或はプレミヤムを生ぜんとする形勢にて前景氣意外に良好なり（東京特電）

◎留學生未復
校生處分

在東京支那留學生監督江庸氏は歸國せる留學生の多數未だ復校せざるを以て彼等の處分につき特別の事情ある者を除き一日迄に復校せざる者に對し全部の學費の支給を停止し各學生中ありたしと請ひ來れるを以て教育部より官費生に補す可き旨返電せり（北京特電）

◎瑞西公使 任命

十日左記の通り辭令ありたり

大使館參事官（英國在勤）　本多熊太郎

任特命全權公使瑞西駐劄被仰付

右と共に瑞西駐劄公使三浦彌五郎氏は歸朝を命ぜられたり（東京特電）

◎宮中顧問官

十日左記の通り辭令あり（東京特電）

宮內省事務官　工藤一記

任宮中顧問官

◎外米移出期
十六日神戶出帆

政府の朝鮮米移入促進方針に基き移出す可く準備中なる西貢米二等品は十六日神戶出港の宮島丸にて三井鈴木湯淺三指定商より朝鮮へ釜山仁川へ移出さるべく其量一萬袋なるが第二回よりは門司より積出す可く釜山仁川に於ける販賣值段倉庫渡八圓三十錢なり（大阪特電）

◎早大新校規
高田博士復歸

早稻田大學新校規は理事會、維持員會、校規改定調査會の審議を經て七十餘條の成案全部可決確定近く公式に發表さる可し右の結果再び學長制度を採用し高田博士復歸して學長に就任し天野博士は名譽教授となり隱退金五萬圓を贈られ外に二千圓內外の學長隱退恩給を受くる事となるべく尚天野博士辭職前後に辭職せる教授は復校する事と爲る可し（東京特電）

◎堂島立會 如何

堂島仲買は總會を開き當市中解合に就き協議せしが結局解合不可能となり增證を納入して十五日より立會ふ可く增證は其れ迄に納入を終れば立會を開始するやも知れず（大阪特電）

◎東京立會 停止
期米形勢混沌

頃日來軟調の期米相場は大阪堂島市場の形勢依然混沌たると七日來神戶市場の暴落を報じ來れるとに依り八日に至り買方の投米多く賣方の追擊加はり三限共暴落し前場十節午後四時立會後場第十一節午後七時半開始の大限二十六圓四十八錢中限二十五圓……延刻を來し市場の混亂甚だしく當限二十六圓四十八錢中限二十五圓……先限二十三圓八十錢……に依り後場二節以後の立會を停止したり（東京特電）

◎安平丸入港

御用船安平丸は十一日朝釜山入港第二棧橋に繫留されたり尚同船には陸軍運輸部釜山支部長林政治郞中佐着任せり（釜山特電）

◎辭令　十日左記の通り辭令のりたり（東京特電）

朝鮮總督府醫院醫官　渡邊晉
同　上　水津信治
成興慈惠醫院長　久德隆篤

歐洲各國へ出張被仰付

◎仁川市場
解合進捗

各月限協定値段決定七月一日當中兩限の立會を停止したる仁川米豆取引所は更に八日先限の暴落に基因し追證整理の爲め先限の立會をも休止し取引全く休場の姿にあり爾來之等の問題に就きては

▲其の解決を 急ぐべく委員會或ひは仲買人集會と連日の協議を重ね委員長初め各委員不眠の努力を盡したる結果漸く十日午後に至り總解合棒値段の協定を爲すに至れり即ち十日午前より之等の件に關し淺委員長宅に於て八名の委員會合午後五時三十分之が解合値段の協定を了し直ちに取引所に於て一般の取引人を招集し取引所側よりは飯田所長與田所役仲支配人及び石坂議士立會の上六時十五分淺委員長より詳細の經過報告あり左の如く協定したる解合棒値段を發表せり即ち

當限　二十三圓二十錢
中限　二十一圓八十錢
先限　二十一圓五十錢

にして之を立會停止當日の引値より見れば當限は五十五錢の上値中限二十五錢下値先限は休會當日の引値より三十四錢の上値にあり

▲之に對して は勿論各仲買人共異議を挾むべき餘地あるを認めざるべきも尚ほ一應穀物筋に對し交涉すべき必要ありとて田中、信本、內海の三氏よりの希望に依り交涉期間の猶豫を爲す事とし十日午後六時四十分散會せり

▽淺委員長談 此の件に就き專ら其衝に當り極力斡旋せる淺委員長は語りて曰く本總解合の成否は一つに其の値段の協定如何にあるは云ふ迄もなく之が協定は最も重大なるものとして頗る愼重に而して確實なる方面より

▲材料を蒐集 するに勉め正確なる判斷を下すに努力したるものにて

▲本協定値段 の如何に妥當なるかを證ふに足るべし斯の如きは容易に得られざる値段にして又以て委員諸氏の如何に之が爲めに中分なる努力を盡したるを知るべく先限の如きは亦內地各地の相場に顧み最も妥當なるものたるは訊く當業者の是認する處なるべし殊に之が協定に當り仲買人委員と局外者側の委員との意見が偶然にも些の懸隔なく一致を見たるが如きは以て

◎吉林森林借欵反對

吉林に於ける森林借欵は反對頗る熾烈にして……態甚だ重大なり（長春特電）

◎休戰滿期と命令

吳佩孚氏と南軍の休戰は六月二十七日滿期となり政府は吳氏に對し急遽に永州陳州を取り廣東討伐の途を開くべきを命ぜり右に對し六月二十九日より南軍は三面より攻勢を取り衡陽、安順擴に前進を開始せり（漢口一報）

◎湖南省土匪蜂起

湖南省にて南方兵士の土匪に化したるもの各所に蜂起し北方兵をして疲命に疲れしめつゝあり（上海電報）

◎南潯線延長計畫

南潯鐵道延長計畫は日支兩國間に協議進行し其國有に就きても兩國の意見一致し延長に五千萬圓を要する事となる可く同鐵道に對する日本の投資は之れ迄七百五十萬圓也（北京特電）

◎開放地協議進行
日支協約中の開放地に關し

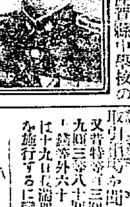
日支協約中の南滿洲及び東部內蒙古に關する第六條に依り支那が自ら開放地と爲すを約せる歸化城（蒙古）洮南府の土地開放に關する件は漸く最近閣議に上りたるが我政府は一兩日前支那政府に其實行を促すと共に我政府の指定せる承德府、長陽府、臨淸、海路、錦州五箇所の各地開放に關し目下支那政府と協議を進めつゝあり（北京特電）

◎曹錕計畫報告

曹錕氏より七日政府に宛て統一軍事計畫を張懷芝、王占元、倪嗣沖、陳光遠、張敬堯氏等と協議の結果奉天、山東、江西、安徽の四軍を正面より進ませ吳佩孚氏をして湖南に於て後方防備に當らしむるに決し既に各方面に經略使の名を以て命令せりと報告し來れり（北京特電）

内地入郡守（十）

（昌原）口石敬義氏



新任慶南昌原郡守口石敬義氏は長崎縣東彼杵郡の人佐賀縣中學校の出身である四十二年京畿道事務官に任命され殆んど本日迄同道各郡の郡守を歷任として就任し來つた本道教育界の恩人である

めたる結果幸ひにして最も妥當と見るべき値段の協定を得たるは殆んど異數の事と云はざるべからず當限に於て三圓二十錢と云ふが如きは嘗に現下の正米相場に參酌して一顧の値もなしと云ふ敢て過言にあらざるべしと信ず

……りしかも推するに難からざるべし若し萬一之をしも不當として異議を挾む者あらんか之れ即ち社會の大勢に從らに逆らふ者の言として一顧の値もなしと云ふ……

◎京畿蘭共同販賣

京畿道管內に於ける在蘭共同販賣の總石數九十七石ありたるが其の第六日は十日開城郡に於て施行し取引相場も聞くに左の如し

又普特等一三圓一等九十九圓三等八十四圓五十四圓等外六十一圓七十圓上等等外六十一圓

尚十九日長湍部は二十一日に共同販賣を施行するに變更せり

人事

▲阿部充家氏（京日社長）　愈十二日午前八時四十分出發

▲笠原三非次府　快癒十日より出勤

▲山中道弘氏（大邱山中商會主任）十一日夜入京南米ホテルへ

▲追間房太郎氏（釜山實業家）　同上

▲森原源太郎氏（京電理事）　同上龍山館へ

▲小泉健三氏（九州成清製藥會社技師）

▲北村昌三郎氏（工學士）同上大和館へ

▲小樽高商學生視察團一行二十七名十一日夜入京旭館へ

▲林仲治氏（天津東亞支店長）十一日夜退京

▲大蔵條太郎氏（大阪石炭商）　同上

▲高洲規氏（群山日報社長）　同上

▲齋藤楠一郎氏（群山日報重役）　同上

◎日日雜俎

……戰爭の爲め……何處でも食糧問題に陷つて居るは同樣である▲處が茲に唯一つ土耳古は不景氣極まつた國で……人民も……當局でも其の調節に苦心惨澹たるのは誰も知つた通りで又た何處の國に……ても……けられぬ由……胡桃を食ふのはまだ上等の部で下等になると南瓜の種を御馳走として居る▲其れでも政府役人は一向平氣の平左で食糧調節なぞは毫も念頭にない▲殊に軍隊なぞは卑劣千萬で農民が粒々辛苦して作り上げた穀物がやつと熟りかけて居る頃▲何の遠慮もなく其の田畑へ軍馬の放ち飼ひをやつて自由に食はせて居る▲其を又た傍から百姓が呑ん氣に見て居るなどは決して他國には無い圖である▲其の癖軍隊の當局扶持も甚だ以て貧弱なので一日の麵麭量は九百グラムと定つて居る▲が何時も四百八十グラム以上あつた事はないけれど兵隊も平氣▲其の行方不明の分量は將校達が自分の腹を肥やす爲失敬する▲此の兵卒の食糧天引も之れも公然だから堪まらぬ呑ん氣もあつたが此頃甚出た幽靈の樣に此處迄來れば超世界的で好からう▲土耳古軍が開戰最初は大分元氣のも察せらる、▲最も土耳古の半月旗には早くから黑い雲が懸つて居るが元來戰後には何うなるか知れない國だから働き甲斐も無いと云ふなら尤も千萬

廢品被服排下
毛布三八枚外五〇點七月二十六日入札詳細七月十一日京城朝鮮官報及當部門前二アリ　朝鮮軍經理部

元植村拾藏
右者市の瀨と改姓候此段廣告候也
大正七年七月十一日
忠淸北道廳內
市ノ瀨拾藏

京日案內
普通一回前金（限名一回拾錢）
番外要……一回前金……五拾錢
▲申込の中止取消は前日正午迄に限る
▲六回以上の御申込は特に割引のこと
▲照會は返信附にあらざれば回答せず

美人よりも一向御一覧は陰まむし
川魚一式京城旭町一丁目出雲屋に
御座ります（電話一八一五番）

◎販賣電話讓り受けたし
京城朝鮮銀行横　ヒオキ商會
（電話二一三一番）

店員入用 要
廿一歲以上市内保證人
本町 ウツボヤ書店 電二五二七

年齡三十四歲土木建築業に經驗のある方
受身元引受人あり永久を望む
吉野町一の一二七廣瀨浦一郞方

金融、官吏及び地主商人五月掛にて極秘
迅速に御融通す　本町四ノ
一〇二（電話一七九六番）山田

番外
看護婦及見習數名至急募集す
姓名 仁川支局

日鮮人外務員招聘
京城黃金町三丁目
帝國公債信託株式會社南鮮支部

礦物定量分析
本町一丁目二番電長二三四四
朝鮮公論社
左橫小路 坂元分析所

名灸
黃金町三丁目……
京城 電話一〇八七番 大坪玄道

スワン萬年ペン
……の英字刻印押捺せり
大阪東區平野町二丁目スワン大阪出張所

中元賣出し
京城本町二丁目
電話二十七番
電話四七五番
龜屋商店

三越特撰の鰹節、銘茶
◇右潤澤に取揃へ居り候に付多少に不拘御注文奉希上候
鰹節、銘茶の商品券
◇御贈答用の御便利を相圖り體裁よき箱入として（金壹圓以上）調進仕候
但し此商品券は鰹節、茶以外弊店販賣の何品にても御引換申すべく且東京、大阪、大連、京城の各所支店共通に取扱ひ候間御用命の程偏に奉存候
京城本町
三越吳服店
電話六〇一二番

キリンビール
洋酒、洋食料品、洋菓子
洋食器、化粧品、舶來煙草
明治屋の
商品券
弊店發行の商品券は左記の本支店共通に相成居候に付何れの店にても營業品は何品に不拘御不便無く御引換可申上候殊に內地へ御呈送には最も御便利に御座候
東京、横濱、名古屋、京都、大阪、神戶、金澤、門司、福岡、
京城本町壹丁目
宮內省御用達
明治屋京城支店
電話二二二番　一七二二番
布引淸涼飲料水

最近の哈爾賓

＝市民の出兵を望むは無理がない ホ將軍が東行する＝不思議なチエック軍

木原鮮銀支店長談

◇反過激派が優勢だ

入京中の哈爾賓鮮銀支店長木原小平氏の談に曰く滿洲里方面に活動してゐるセミヨノフ軍は一時過激派軍に破れて兵力も二千位に減じてゐたさうだが

▽最近勢ひを 盛り返し六千以上の優勢を保持するやうになつたらしい、その內に三百內外の吾猿後備兵を主とする義勇軍が參加してゐるとの事です又吾義勇兵が入つて俄に强味を加へたと云ふのも事實らしい、セ軍の位置も一時滿洲里以西六十里位に進出してゐたが客月來退却して目下約十里の地を守つてゐる獨墺の捕虜が過激派軍に入つてゐるのは實際のやうだ

◆出兵を望む哈市 ハルビン東方の露支國境ポクラニーチナヤには東清鐵道の守備隊長カルムロフと云ふのが三百名位を率ゐて踏まつて居り、それにウオロフと云ふ大佐が此頃六百內外の兵に將として參加し協力して過激派軍を防禦してゐる、ハルビンもセミヨノフ、カルムロフ軍が

▽東西を塞い で呉れてゐるので目下の所靜穩だが、若し此の兩軍の何れかが破れたら形勢危いわけですハルビンの同胞が本國の出兵を望むのは無理はない、それはいつ獨墺の勢力の混つた過激派軍の侵犯を受けぬとも限らないからである

◆ホ長官が東行 私がハルビンを立つ二三日前ホルワツト東清鐵道長官は十名ばかりの幕僚を率ゐて東行したと云ふ事を聞いた、コレは恐らく浦鹽で勢ひを得たチエック軍が漸次押し寄せて來て前述のポクラニーチナヤ

▽國境にゐる カルムロフ軍と連絡がされた爲ではないか、そこでホルワツト將軍はチエック軍と何か協議をするためではないかと思ふ果して然りとすれば不通となつてゐるハルビン浦鹽間の鐵道も近く開通するであらう、尤も荷物の輸送は當分やらぬかも知れない

◆チ軍はどうして來た 浦鹽に活動したチエック軍は露獨の戰線から浦鹽に出で米國を經由して佛國戰線に參加するのだとは誰れも云つてゐるが、如何にして歐露から浦鹽に向つたかは明らかでない、素より列車で黑龍鐵道を經たものと思はれるが、その何十と云ふ列車をどうして集めたか、食糧をどうしたか

▽過激派の政 府がどうしてそれを通したか聞く所によると西伯利亞鐵道の所々で過激派軍に行進を妨げられ初め五萬の兵は浦鹽に着いた時一萬五千になつてゐたと云ふから方々にチエック軍を殘して來たのだらうとは思はれるが、その兩合點の行かぬ事が多い之れを陸軍の將校に聞いても例の露國式の三字で說明して終つてゐるが、實際分らぬやうだ

無佛居士所藏 達磨の幅が七百

白隱以後明治まで系統的に蒐集

阿部無佛前社長が七百餘の達磨の幅を所藏して居る事は一寸前に紹介して置いたが之に就いて語るらく私が達磨の幅を集め始めた動機は勝海舟先生から曾て白隱禪師と言ふ人は

圖高德の人 で或時近所の豆腐屋の娘が孕んだので其の父親が不埒を責めると娘は白隱和尙の胤を宿したと答へたすると父親はぶまい事か早速禪師を訪ねて御禮を言ふと禪師は

△…額の筋一本揺がさず『あ、左樣か』と答へたきり虛心平氣で四方山の話をして居たが其後娘は良心の苛責に堪へず白隱禪師に濡衣を着せた事を白狀すると這度は父親が禪師の下に驅けつけ平謝まりに謝つたが此時も禪師は『ふむさうか』と言つただけで娘の不心得も父親の粗忽も責めなかつた、と言ふ話を聞いた事があつた夫以來

圖毀譽褒貶 に超越した禪師の人格を慕ふやうになり熱心に白隱禪師を研究したが研究すればする程眞面目が解つて來、遂には其の遺墨を一幅でもよいから手に入れ掛間に掲げて行住坐臥禪師の德を慕はうと言ふまでに熱心な崇拜家になつた、其後

△…ある寺から、小さい幅を貰つたので本願成就と喜んだが扨一幅でも手に入れると後が欲しくなる次第に募り募つて果は白隱の高足で世人から達磨の大器徹翁の東嶺と謳はれた遂翁東嶺の書畫も集めるやうになり遂には系統的に蒐集すべく門下の隱山卓洲の二派を起して大正の今日に至るまで

圖十餘年を 費やして初期通りに系統的に蒐集する事が出來た、斯樣に白隱の系統を引いた者で有名なのは悉く集めると這度は又新しい慾望が起つて白隱と共に禪林の兩大關と稱された日向の古月和尙を研究する事になり之も矢張り永田の月船誠拙仙厓等有名な人の書畫を系統的に集め數百幅に達し遂に

△…兩者を合して

△…七百餘幅の多きに達した、その中で一番好きなのは白隱と遂翁ので寸輸峯畫と雖も集めつゝ有るがその畫風が如何にも超脱した禪味を帶びたもので都々逸とか物の聲へとか言ふやうな俗的のものを禪化してそれを縱橫に書いて居る處が非常に面白いと思ふ。因に

圖無佛居士 は歸京するに際して借貸の無き身にも達磨の幅丈けは大へんな荷になるので荷造りはどうしやうかと隨分思案したものである

◇白隱和尙筆 達磨の圖 （阿部無佛氏藏）

洋行する兩醫官

總督府醫院の水津精神病科長と渡邊皮膚泌尿科長

總督府醫院醫官水津信治、同渡邊晋、咸興慈惠醫院長久德隆篤の三氏は今回歐洲出張を仰付けられたるが右の報を齎し總督府醫院に水津渡邊兩醫官を訪へば先づ渡邊醫官は語つて曰く

渡邊醫官

水津醫官

▼斯麼愉快な事はない 渡邊醫官曰く

私が洋行することになつた？然うですか私はまだ何も承つて居りません全く今聞くのが初耳ですが果して夫が事實とすれば之に超した喜びはありませんまだ其筋から正式の發表がない中に斯んなことを申上げるのは如何かと思ひますが前にも云つた通り若し夫が事實とすればですね多分米國を經由して

圖瑞西に 行くことになるでせう唯海上の危險な折柄首尾よく目的地に行けるか何うか此點は頗る懸念に堪へませんそれに戰爭以來各國共獨探の跋扈を警戒する爲め旅行券の查照や入國取締が仲々嚴重だ相ですから之が又隨分厄介なものだらうと思ひます夫も外國の事情に通じて居れば兎も角全く始めての洋行ですから到る處

圖赤毛布 を發揮して飛んだ嘯ひの種を蒔くことでしやう私の專門は皮膚泌尿科ですが鮮人は行住坐臥すべてが不潔な爲め皮膚病患者も仲々多く內地人の約四倍と云ふ數を示して居ます殊に第三期の黴毒から來た皮膚病の多いことは驚くばかりです歐米人はドレを見ても皆皮膚が綺麗で一見皮膚病などは尠いやうですが實際は然うでもありません一體彼等の皮膚は綺麗な代りに極めて弱く

圖色素も 薄い殊に日光に對する抵抗力の如き非常に弱いもので日本人などは到底比較になりません愈々洋行することになれば私は無論私の專門とする所を研究し度いと思つて居ますが何時出發するかは政府の御都合次第の事ですから今お答へする譯に行きません、尙同醫官は明治三十九年頃の赤門出身の

圖醫學士 にして久しく皮膚病科の泰斗たる土肥博士の助手たりしことあり高等學校時代にはボートレースの選手として鳴らしたものなりと

▼伴侶が有るので心丈夫 水津醫官曰く

水津醫官は十一年か二年の京都大學出身で卒業後上京して布施博士の助手たりしことあり目下は總督府醫院精神病科長として所謂

圖東八號 に綴番を揮へるが流石に欣然として語つて曰く、果して何處に出張することになるか正式に發表された上でないと分りませんが多分露西亞に行くことになるでしやう尤も吾々のは普通の漫遊と違ひ二三研究し度いことがあるのですから若し海上が危險で目的地に渡ることが出來ぬやうなら私は

圖米國に 止まつて研究しようと思つて居ます、今度は渡邊醫官や久德院長と一緒ですから頗る心丈夫で旅行中も亦愉快であらうと喜んで居ますが何しろ外國語の素養は不充分勝手は分らずここに來て居るので隨分滑稽を演じることだらうと今から最うその覺悟で居ます何？家族ですか家族は皆

圖郷里の 方へ殘して居りますから私は止むを得ず宿屋住ひで不便なこともありますが氣樂なことは氣樂ですね

葦渡丸 土匪に襲はる

死傷九十六名

不邦人所有の滬上汽船葦渡丸は長沙より常德に向ふ途中土匪百名に襲はれ九十六名の乘客死傷し貨物は掠奪を受けたり（上海電報）

藝妓を種に 橫領數犯

惡桂庵檢擧さる

原籍福岡縣朝倉郡夜須村字三牟田一七五當時釜山西町一丁目七周旋業博多屋事多田森太郎（四三）は本年四月七日當地西彌縣より藝妓の周旋を依賴され大邱藤原四郎八方天野あい（二十）を抱入るべしとて手附金百圓を受け取り電報にて尙三百四十圓を

騙取 して女は連れ來らざるより彌縣に四百四十圓の返金を迫りたるより森太郎は既に他店へ約束濟なり細川こくを一時の場逃れに仕組居たる事實判明して告訴され檢擧されたるが尙此の外平壤櫻田料理店與田はなを抱へ藝妓に周旋せしく（を）千圓位にて仕替方を依賴され釜山南濱一の家事今村すゑ方に仕替へた金を橫領五月二十日には京釜線鳥致院平松松太郎方抱へ女櫻井ふさを二百六十圓にて作佰ひな方へ

◆仕替 させ金十圓を手數料として受取りたるも其獨不完備の爲め更に之れを同地いろは樓に四百圓を以て轉賣して橫領、又江原道江陵富田源次郎方抱へ西村すみを滿洲本溪湖安東德一方へ八十圓にて仕替へを爲さしめ四十圓を着服し尙知人なる大分縣別府田里直吉方へカモメ、成駒こいふを周旋すべしと欺き六月廿三日頃一千圓を銀行爲替にし送金せしめ居たるが費消せざる內に檢擧されしを以て該金は被害者へ還付されたり（釜山）

豺暴る

慶北にて小兒の殺傷續出

慶北地方にては每年夏季豺の爲め小兒の殺傷さるゝもの多きことは屢報する所ありしが六月二十九日夜十二時頃安東郡立岩面老淵洞丁得方にては內庭に蓆を敷て

▼就寢中 突然一頭の豺現はれ二男水報（二）の右耳を咬切り後頭部に深さ骨膜に達する咬傷を負はせて逃亡し同日午前二時頃同郡石保面深田洞李鶴桂方にては扉

▼咬傷を 受け居れる一男を開け放した儘就寢したるに一頭の大豺が寢床を襲ひ長男正男（六）を咬へて持去せるを家人が追跡し約二丁を離れたる山麓にて無數の男を取り返したるが頭部落命なりしと又榮川郡鳳峴面柳田洞權琪淵方にては二十八日午後九時頃家人等が夕涼み中二女粉順（八）が豺に拉去され洞民等極力搜索せしに約四丁の山中に喰殘されたる

▼死體を 發見したり爲め警察各駐在所にては目下豺の驅除に從事し同時に部民に對して夜間屋外に就寢せざる樣嚴重訓達したりと

相撲乘込

（東京）

一昨夜半東京元緑相撲協會に在住年を爲し如何も無聊なりしと語る東京大相撲、鳳、千葉ヶ崎の一行は元山より向ひたる鐵道人夫の努力に依り九日午後七時愈々開通するに至り同夜九時著當地勸進元消防組等と共に雨の夜路を夫々旅館に就きたるが十日も朝來微雨あり休場せるが多分十一日は延び延びの初日も愈々開場を見るならんか（十日元山）

四歲で浪花節語り

黄金館にては十二日より全部新版さし替ふる由なるが主なるものは例の神田伯龍の秘密にしてこの外新派悲劇八百八狸（全四卷）舊劇大判等にして右の外桃中軒雲右衛門と女等にして浪花節身振芝居全二幕あり一行十二名の內四歲にて浪花節を語る者ありその他十三歲を頭に七歲六歲の幼兒揃ひに可愛い聲を張り上げて浪花節を語るところ珍無類なるべし

▲鹽原多助 大正館には十二日より新版さし替ふべしその主なるものは大阪每日連載小說立志美談鹽原多助全七卷並びに滑稽活劇コンクリン死の列車全四卷等にして殊に鹽原多助は日活會社の最新の傑作なりといふ六月の撮影に係るものにして

▲連會來る 新派さし浪合一行は京城遊覽所の巡業を終りて十日京城に乘り込み十一日より壽座に開演しるが一座の主なるものは生田兵庫、日比野富雄、月岡清等にして孰れも若手揃ひの事なれば好評を博すべく第一回の狂言は重れ概ね七場通しなりといふ

▲有樂館 十二日より新版さし替ふべく今回の分は實寫スクリンマガジン三十八號、喜劇ヤンキー娘全卷、冒險劇第四ダイヤの一、人情劇火の笛に、活劇赤旗出しや汽車でも止まる等なり

▲壽館の喜劇 壽館にては十二日前より新喜劇梅原一派吉右衛門一派にて開演中なるが十二日五回目替り狂言は一笑劇千……全三場二社會劇いたづら者全二場三藝術劇……全三場なり

▲浪花館 東京大角力一行にて開演中なるが連夜好評を博し居れり

夏紺セル洋服
夏紺小倉洋服
冬物絨服
冬小倉服
チヨキ各種多數
軍隊拂下品一式
和洋古中衣服類一式
新調洋服類

鐵道局拂下品販賣

事務服として最適當品　多數

入夫用として最適當品　多數

同外套　毛皮胴着

右精々勉强多數御注文に應じ可申候間多少に不拘御用命被下度候

和洋古衣服商 金子商店

龍山元町二丁目長電百〇五番

官衙拂下品　振替口座京城三八一三

新田耕市商店

公債株式現物賣買

電話長五七〇番　一八八一番

京城櫻井町一

◎各位の御便益に向て誠意努力可仕候間多少に不拘御用命被下度候

紡績株の強硬!!

昨今の現物市場は紡績株に於て人氣は依然として旺盛にて質疑一時は多き品の賣付百もあり金時代の事にて當方各種を御希望の方は……

鐘紡（七十七圓）

日紡（六十六圓）

東紡（五十九圓）

合同（……）

養鷄の最新法

五百圓の鷄も千圓の鷄も此の方法で容易に作れる

歐米の學者や養鷄家の試驗から一羽で數百の卵を……みに半分大收益あるは養鷄で卵が雛に雛が親に親が卵を生む迄の手數は言ふ程のものでもない。殊に今日の鷄は時々何千圓もする鷄が出來るので全く夢の樣な金儲けです。此の技術は日に進步し發達する……

◎收益多大！

開業成功者續出

男女 好職業

全國各地へ灸術の開業を……今回當院にて實地を……

◎東京本鄕區……日本鍼灸專門學院……

塩原多助

大阪每日新聞連載小說

寶業家の成功美談

全通し七卷

其父が馬『靑』を特に三年の長月日活會社の松之助に調教させ養して其間に到底大劇場の撮影をなし親しく之を常に松之助の別れに……助と兩個の別離の悲劇は……

米國バイタ社作

冒險活劇 死の列車 全四卷大雄編

野村雅延得意の說明

キーストン社作

滑稽活劇 コンクリンの蠻勇 二卷

日活特約 大正館

完成せる大寫眞

十二日より提供

京城本町 大阪屋號

鐵道旅行案內

定價一圓五十錢

布陣挑戰法

◎鮮語階梯

最新刊

內科 胃腸病

診察夜九時迄

京城本町一丁目

石川醫院

電話二一七二九番

黃金館

◎寫眞と實演◎

サツポロビール應援のキネオラマ大好評の裡に本日限り打上げ愈々明十二日より第二次特別大興行として東亞煙草應援のもとに賑々敷公開いたします

一、百萬弗の秘密　三編四編　全四卷

二、舊劇　八百八狸　上中下　全三卷

三、新派悲劇　仇櫻

◎大餘興として御當地初めて御目見得浪花節應用劇

可愛子供俳優が十四歲を頭に三歲迄が出演して皆樣の御機嫌を伺ひます

入場料

一等六十錢　二等四十錢　三等二十錢

御客樣には漏なく敷島、朝日、二臘を差し上げます

眼科專門

入院隨意

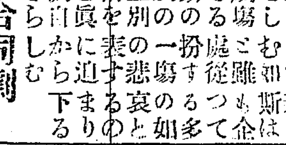
京城明治町東拓横（電話二〇四四番）

日曜祭日午後二時迄

江頭眼科醫院

江頭富雄

眼鏡專門



△弊堂特色

レンズ精選

技術精巧

品位確實

價格低廉

親切勉强

（詳細定價表發行す）

京城南大門通二丁目

宮川大學堂

電話二九五番　振替京城壹武九番

（眼鏡製造工場子弟入用）

診察時間

自午前九時至午後六時

初診の御方は可成午前中

京城長谷川町二丁目（朝鮮銀行裏門前）

シメノウチ歯科醫院

電話八一二番

東京日本橋本町 高木與兵衛

淸心丹

懷中要藥

氣分を爽にし船車の不快、過酒食、嘔吐下痢、時候アタリの應急藥胃腸を健にし消化を進め赤痢、コレラ、腸チブス等の豫防となる

漢城銀行

資本金參百萬圓

明治三十六年八月設立

當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城府南大門通壹丁目十四番地

株式會社 漢城銀行

長 男爵 李允用

專務取締役 韓相龍

支配人 石鎭衡

電話長六〇一番

支店 水原、平壤、大田、開城、南大門

出張所 釜山、鍾路、東幕

…は一般の嗜好は紬、琥珀織、縮……なれば此方面の需要は漸次に增加……すべく米國が絹布制限說のある一……示し又絹布輸出の望みある……多く殊に……の外は何れも不……

妻の心　三十五

小林蹴月作　武内桂舟畫

六の七

小龍は、一目見て『姐さんは、大分廻はつて居るやうだわ』と思つた。それにその中腰式の態度と云ひ、今頃此方の後口へ顏を出すやうでは、階下のお客樣が、お待ちかねの町川でないとをも、略察しが付いたのである。小龍に取つては、驕つて貰ふ約束の市村座が、おぢやんになつて了ふのが何よりも辛い切ない問題であつた。

『姐さん、彼の方ぢやなかつたの。』

『知らない、そんな事。遠慮小さなもんぢや駄目だから、も少し大きな物へ酌いで頂戴。』

『まあ驚いた、姐さん、什うか爲やしないの。』

小龍は、わくわくと爲ながら顏を見て居る。

『什うも爲や爲ないわ。久し振で櫻井さんのお座敷へ招ばれたから、うんと御馳走にならうと思つてゐ。』

『はゝゝ、若龍君當る可らざる勢ひだね。御馳走になるは宜しいが、町川君に逢へない腹癒せを僕の方へ卷き返されたんぢや、埋合はせが付かないね。』

『關ふもんですかね。貴郎だつて知らなかつたけれども、町川さんの奧樣とは、從兄妹同士の仲だつて云ふぢやありませんか。然うすりや何も、御親類内の中なんですもの、町川さんの難儀を貴郎がお引受けになつても苦文のない話だと云ふもんだわ。』

『はゝア、若龍君町川からいろんな事を聞かされたと見えるな。併しだね、若龍君、君を贔屓筋にした先祖はと云へば、町川よりも僕の方が寸と古いだらう。僕は、内心憤慨に堪へずに居た處へ、例の森ケ崎の奇遇だらう。誰にしたつて、餘り芳しい感じのもんぢやないからね。』

『そんな事は、貴郎が被仰らなくたツて、妾百も承知してますよ。ですけども、櫻井さん、彼の時は彼の時、今は今ですわ。どうせ藝妓と云ふ看板を掛けこくんですもの、一人や二人の御贔屓筋がなくて、行き立つものぢやありや爲ませんわ。後になつて、町川さんと貴郎とが一緒に遊びに入らッしたりなんかしたから、貴郎の方へばれて了つたやうなもの、左もなけりや、永久に知れッこなかつたかも知れませんのよ。』と、若龍は、もう半自棄の氣味で、ずばずばと自分の思ふ通りを云つて退けるが、

『先づ御免を蒙りませう、一寸町川君の怨みを買ふやうなもんだからね、はゝ、はゝ。』

『什うして？怨みを買ふ譯はないぢやありませんか、町川さんとはあの、少し仔細があつて、妾の方から綺麗に御免を蒙つて了つたのよ。』

『旨く云つてるせ、彼れ丈の深い間になつてさ、落籍の相談までも天下に公表して了つてから、譬へば君の方が御免を蒙る了簡であつても對手が承知する氣遣ひがありや爲ない。』

『でも、御免蒙つて了つたのが、事實なんですもの。只ッた今方……』

『一寸待ち玉へよ。只ッた今方、町川君が此の深川亭なんかへ出て來られる筈はないんだ。第一僕だつて先刻まで、町川君の邸で、親族會議へ列席しこつた一人だが、その時も確かに町川君は、自分の書齋で寢轉んで居る姿を見掛けたんだがね……。』

什麼に櫻井の天眼通でも、病後の體が窃かに此處まで脱け出して來たとは、氣付う筈がなかつたのである。

受太刀の櫻井は、ビーアの洋盃を少しづつ啜つては置き、啜つては置きしながら、

『まあ、好いさ。君の云ふ所はすべてが正理として拜聽しこくさ。で、それから一體町川君の落籍問題と云ふのは……？』と、稍眞面目らしい口調に變つて、問ひ始める。

と、若龍は、何にも云はずに、猪口の底をば熟と眺めて、突ッかゝるやうな吐息をほつと吐いたが、忽ち思ひ出したやうに、莞爾と笑つて、

『櫻井さん、貴郎と妾と、又、落連りになつて下さいましね。』

『……若龍君、君は何か發憤けさるんだね。』

櫻井は、鼻の先で嘲笑つて、ついと彼方へ顏を反向ける。

『いゝえ、發憤けて云ふんぢやありませんのよ、本統に妾から改めてお頼みするんだわ。』

『[illegible]であらうが、諧謔であらう

●近世界蠶況

同國の見込なるも蠶種は高溫多濕……ルシト地方と同樣暴風雨襲來の爲め……且つ大繰きたる蠶種の掃立に……一割五分の增加、ガール、エロール、……於て些か不安を感ぜしめたるも……伊國關西……四月の天候寒冷なりし……生ずる困難甚大なるに不拘……一般……りては蠶兒は一般に二眠乃至三眠……報によれば天候不良極めて寒……

日報歌壇

○かなしき祈り　雪三郎

ひかり青き星の下びに泪垂れかなしき者は祈りをばする
潮わくわが郷里にもそのかの今宵をいねておもひやすらむ
あかをかのきぞの夕べの消べにかなしかりけるひこの姿よ
堪へがたく臥床いでてきて夜の姿ながら、風のねをき、にけり
すゝかけの夕べの風よたちかへるこの愁しさをすくふすべなし

○　昴形　正

吾妹らが赤裳ぬらしつ田植ゑてん豐の雨雲めぐめよきほご
田植うる菅の丸笠並みゐるも新しきかも吾妹すげがさ
菅笠の赤紐ぬれけん頰のへにしみつきゐるも豐けき頰に
乙女らの田植の歌し妙なれば行き過ぎがてまごう畦路

京城の名物（京城南大門通三）
カフエータイガーの洋食とアイスクリーム

日報俳壇

鮨　―五の日十の日作―

○　浮碧樓
鮨食ふまでごひにありし昔宵にもごるべし
鮨に手傳うて婢は影を走る

○　芹郎
鮨屋かごの乾いた晩が出づる
うれしさうにして鮨をあましおて居るや

○　阿岐良
鮨を押し侘ぶる妻を疎んじもする

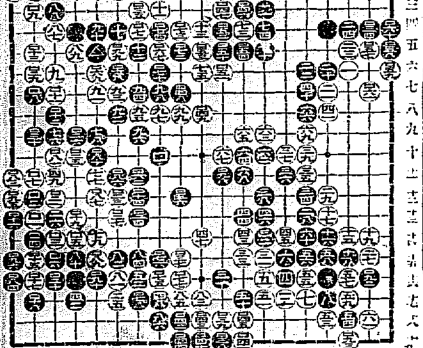
○　鳥堂
酒たうべぬはまじく鮨ばかりの夜
鮨の前には坐りはたけてる一人で

■洲吟社詠草
草花に水遣る妻や春の月　一夢
宿引の赤き灯や春の月　寸鐵
瀑布やめて今日霞の月　同
脱ぎ捨てし兒の庭下駄春の月　無腸
江村や鶏且啼きて春の月　洲川
島にかゝりて炊ける船や春の月　石湍
自動車の遅き着きぬ春の月　餓鬼

碁戰（十）

（大正七年六月二十三日京城日報主催於圍碁會）四段　喜多文子　四子　鮎貝房之進

一　二　三　四　五　六　七　八　九　十　十一　十二　十三　十四　十五　十六　十七　十八　十九



い　ろ　は　に　ほ　へ　と　ち　り　ぬ　る　を　わ　か　よ　た　れ　そ　つ

新刊紹介（到着順）

▲宗教統一論（鳥親上人著）本論宗教の本質、現代宗教界の缺陷した原因、人間の根本問題、理化學的參考、物理化學を上篇とし宇宙問題、靈界、聖と法、人間界より、宗教統一問題の結論、規格的宇宙、靈宇宙の本願と人間の本願を中篇とし宗教と人生、人間の根本、靈界に立つて、本來の立場意義ある人生、最後の滿足を下篇とし猶附錄に世界の大宗教、神道、佛教、基督教等の統計表あり（四百頁一圓八十錢東京麹町區六番町十宇宙社發行）▲草木園解栽培發法（阿部股峰著）栽培の仕立方、適土適肥、害蟲の驅除法、灌水、濕度、鉢の選擇等に至るまで栽培に就ての智識を總て挿繪入りにて圖示したれば園藝家の愛好資料として好個（二百數十頁六十錢東京日本橋本村本町三の十求光閣書店）▲ホトトギス（七月號）甲州の男（虛子）手袋と靑磁子 道子へ（規苗）荒野のまゝの合の屁（蛇南）芸難 煤六（渡邊省亭、伯（明雪）花屋日記中の疑義（鹿南生）私はホトトギスの信者（鹿南生）南國人の思ひ出 久女、どんな話を作つたらいゝか（虛子）句集及び俳話並びに消息等（三十錢東京牛込市ヶ谷船河原町二北發行所）▲草汁（三月號十錢東京下谷練塀町十六仙堂）▲我が家（七月號）五錢東京麹町飯田町二の五二帝國在鄉軍人會本部

◉クラブ本店工場新築　クラブ化粧品總本店中山太陽堂にては近來事業の急速なる大發展につれて店舗及び工場の狹隘を感ずること久しく先年既に新築豫定地を南大阪の地に購入し廣く東西の事例を參酌して設計に苦心しつゝありしが最近に於ける事業の激增と需要の膨大とは從來の規模を以てしては到底忍ぶ能はざる事となりたるより昨年愈南區水崎町の豫定地に工を起し今回略竣成を告げたるにより本店及工場共六月二十二日を以て新築に移轉する事となれりさいふ新築は規模頗る宏大にして諸般の設備遺憾なく完整し眞に東洋第一の化粧品工場たるに愧ぢず

◉輕便蚊帳　東京日本橋角の蚊帳商岡モリヤス發賣の近江屋西川商店よりの輕便蚊帳及び五ツ蚊帳は携帶用旅行用として非常に好評にて詳細は申込み次第營業の栞を送る由

讀者の領分

▲凉を追うて南山公園に歩を移せば豆粒を透して山嶺きの香料理屋の楼中の藝妓手に取るが如し彼れ遊冶郎が酒池肉林の間に南山の景を賞するは自由なるも少なくも散策の遊客より其の醜態を望むべからざる設備は風紀上必要にあらざるなき乎（公園の鷺）▲京城中央にて親切叮嚀に朝鮮語を初歩より敎へて下さる方はありませんか御存じの方は何卒御知らせを願ます（研究生）▲不良學生の事はシバ〳〵聞く事であるが茲に私は毎日職務用にて規則の如く正午より四時までの内に仁川海岸附近を過ぎるが不思議にも或商家の二階にて學生制服のまゝで不品行な眞似をして居る聞けば數回落第もしたさうだ此後反省せぬと秘密は發表されますよ（覗見生）▲借家を讓り受け下さる御方あらば本町で御住所を御知らせ下さいませんか御伺ひして御相談致します（元山住民）▲所等が到る處にありますよ（係）▲本町の澁道で荷物取扱所員は偽りに不親切だ、僕は子供に三十錢持たせて小荷物を託送しにやつたら錢が六錢のつりを遣はさずに行つた、首宅まで取りに歸つて[illegible]に合はなかつたなんても[illegible]様な眼に合つた人はたくさんあるそうだ（山田生）▲漢口水の[illegible]附の爲め水溜を撥むりたる個所あるは皆様は御存知の通りでありますが南山より流下する谷川の水肥に汚穢を一掃せられたるは天公降雨の御蔭でありますと喜んで居りました處へ九日の午後三時頃總監部の前に流れ出る小川の流れが黃色に變じ異臭を放つに付き何事なるかと怪しみ流れに遡りて往き見たる處總監部前通りと大和町通りとの交叉點の附近で鮮人の肥料汲取人が内地人の便所を汲んでは棄て汲んでは棄て此の小川の流れへ入れ流したるを見止めた此の便所もなも考へずに之を指揮する家主も驚き入りたる仕打なす奴ばらと思はれ候夫れが爲め此の川に沿ふ住民は[illegible]の『サン』を受けました當局は特に注意を望む（南山流下生）

■永興小花會詠草（前號の續き）
薹の床に水打つ春の月夜哉　同
古邑が見ゆる柳並木や春の月　晴嵐
芽柳に耕し人の背傴かな　同
砂運ぶトロ輛らせる柳かな　凉火
聲の中に住むる小家や鳴く蛙　杜子

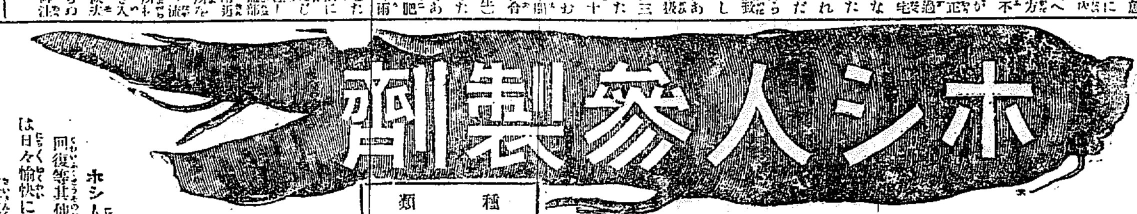
■永興小花會詠草
耳に近く虹が鳴くなり藤の花　負孤
霞晴れて旭に輝ける湖面哉　同
池の面に垂れ咲く藤の微風哉　蓮川
牛叱る畑の畔や夕霞　同
藤ありて俺に名ある野寺哉　釣川
煙の窓に徘ゆる柳や朝霞　同
午下の陽に虹が飛ぶなり藤の花　南里
湖の上に浮ぶ古城や春霞　同
夕陽に尖る石碑や藤の花　故子
夜流す唄淋しさよ夕霞　同
古城趾に茶店もちて藤の花　雪山
沖にかゝる灯點す船や朝霞　同
池に照る强き西日や藤の花　千波
霞む野の空に鳥の羽音哉　同
船を壓す危き岳や藤の花　蘆江
大桑の底の小村や春霞　同

△中元贈答品は何かよい思案召さるな!!
砂糖　釉入　五斤入　七斤入　十斤入　廿斤入
其外好適品各種取揃有之候
千利堂菓子舖　大門店 電話二七一〇番　本町支店 電話二九三〇番

朝鮮總督府顧問　帝國大學醫科大學　三宅驥一博士が特選せる
本場藥用朝鮮人參を
化學的に精製せる　ホシ人參製劑
從來の類似不良人參と其の撰擇を誤る勿れ

人參は古來顯著の重病を救ひ、不思議なる不老長壽を讃ずとして珍重されたるが、近代の醫學は更に之を科學的に研究して其卓効を證明するに至れり。ホシ人參製劑は藥用人參の中の最も權威と認められたる本場開城産の人參の有効成分を採取し之を化學的に精製せるものにして、人參研究界のオーソリチーたる三宅博士は醫藥以上の藥として之れを推奬せり。朝夕本劑を常服せば精力を增し、頭腦を明晰ならしめ、血行を佳にして凡ゆる病氣に對する抵抗力を强盛ならしめ、……

□肺病　及び　□腦病……一切を初め、左記人參の適應症に列擧する病症に對して卓越せる効能を有す。



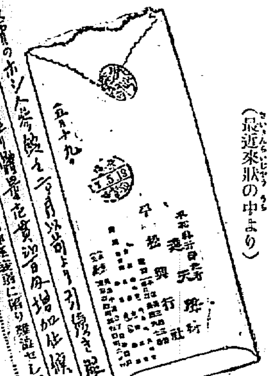
種類			
ホシ人參丸	五十錢	一圓	二圓
ホシ人參錠	五十錢	一圓	
ホシ人參末	五十錢	一圓	二圓
ホシ人參エキス	五十錢	一圓	二圓
ホシ人參葡萄酒	一圓五十錢		
ホシ朝鮮人參（生）	一圓	二圓	

（何れも同じ）

人參の適應症
神經衰弱、ヒステリー、貧血、肺病、老衰、子宮血の道、リウマチス、腦病、神經痛、陰萎、營養不良、腎臟炎、等に特効あり

感謝狀續々來る
ホシ人參製劑服用者より體量增加、固執病回復等其他種々なる禮狀來り本社營業所係り員は日々愉快に執務罷在候（最近來狀の中より）

御愛顧のホシ人參錠を一ヶ月以前より引續き服用致し居り候處體量を算し……增加仕候……



東京京橋南傳馬町三丁目
星製藥株式會社
電話京橋七八五・二〇二〇・四〇五二・二〇二七番
▲全國の藥店特約店にあり

瀨戸外科皮膚科醫院
京城旭町二丁目（舊三丁目）電話二四九八番
醫學士　瀨戸潔
（診察夜九時迄）

優等清酒

發賣元　永樂町二丁目　本莊酒店　電話六五四番　振替京城六二〇番

資本金　貳千貳百七拾萬圓
積立金　壹千貳百貳拾萬圓
總預金　貳億貳千六百萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城本町二丁目　振替貯金京城一〇六一番　電話二三一七番
頭取　佐々木勇之助
支配人　西村道彦

銚子港　田中玄蕃釀造
ヒゲタ醬油
代理店　京城明治町一丁目　發賣元　山邑京城支店
電話八四九番　振替貯金京城七五番

最新流行　新荷到著

ムキワラ帽子　金五十五錢より金四圓迄
パナマ帽子　金一圓廿錢より金五圓廿錢迄
送料（鮮内十二錢　外三十錢）
▲鳥打帽子　其他最新形澤山取揃へ居り候
御注文の際は頭の寸法御申越下度候（縞か無地など色合御嗜好及價格頭寸法御申越被下度候はゞ適當の品見計ひ御送付可申上候）
京城大平通　京城日報代理部
電話六〇〇九番・振替京城三〇〇番

最上醬油
朝鮮仁川府
高杉醬油釀造場

りん病　請合藥
△にせ物あり御注意▼
京城南大門外停車場通　ドラッグ商會滿鮮本部
はい毒　請合藥
京城黃金町貳丁目　ドラック商會支店

妻春枝儀葬儀之節は炎暑の折柄御會葬被下難有奉謝候御尊名伺漏れも可有之候間略儀以紙上御禮申上候
夫　湖崎佐次郎
父　湖崎喜三郎
友人一同

日本郵船仁川出帆
◎大連、天津牛莊行　肥後丸　七月十九日　酒田丸　七月十一日
×高砂丸　七月十九日　船客御斷
仁川海岸町一丁目（電話十番）郵船回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
大連直行（關東都督府命令航）共同丸　七月十一日　後入港　七月十三日　前出帆
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店　本町四丁目（電話一七三番）野口商會
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店

釜山出帆廣告
◎元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　七月　日後四時出
◎門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　七月十五日後四時出
◎佐須、嚴原、博多行　大貫丸　七月四日午後十時出
釜山港埋立新町本船取扱店　大池回漕部

大阪商船出帆
神戸、大阪行（仁川出帆）　公友丸　七月廿二日　後五時出
仁川、大阪行　×安東丸　七月十三日　正午出
南浦行（元山出帆）　平安丸　七月十三日　後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　安平丸　七月十九日　後九時出
上海、漢口行（大連出帆）　湖北丸　七月十二日　前六時出
　北陸丸　七月廿四日　後四時出
內地各港出帆上安航路

歐洲行　南米行　北米行　濠洲行　南洋行　爪哇行　毎年四回　毎月一回
◉外航船客及び……
御注意　大阪商船株式會社仁川支店

尼崎汽船仁川出帆
下關、大阪直行　第一大湖丸　月　日後四時出
釜山、下關、大阪行　群山、木浦、君が代丸　七月十七日後四時出
大有丸　七月廿二日後四時出
仁川海岸通二丁目（電話五九番）高杉回漕部

朝鮮郵船出帆
浦汐行　大阪商船……　七月十二日　清津經由　平壤丸　元山發
越後丸　七月十五日　元山發
雄基行　×釜山、元山、城津、清津……　七月十七日　釜山發
雄基丸　七月十四日　元山發
丸　七月　日　釜山發
元山雄基線　鏡城丸　七月十五日　元山發
大阪行　山陽丸　七月十四日　七月十二日　元山發
金剛山遊覽便　鏡城丸　七月十三日　元山發
濟州島行　咸鏡丸　七月十七日　釜山發
釜山浦項線　江陵丸　毎日　釜山浦港發
濟州島行　昌平丸　七月十六日　釜山發
東廻　西廻　慶興丸　七月十六日　公州丸　七月十九日　木浦發
釜山麗水線　海州丸　統營丸　巨濟丸　毎日　麗水發
木浦濟州島線　順天丸　七月十三日　木浦發
多島海行　公州丸　七月十四日　木浦發
木浦行　慶安丸　七月十二日　仁川發
海州行　鎭江丸　南陽丸　毎日一回　仁川海州發
鎭南浦行　晉州丸　七月十八日　仁川發
青島行　江原丸　七月十三日　仁川發
朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡運送ノ便有
本社　京城南大門通　電話一一九五・二三三
釜山支店　釜山港佐藤町
元山出張所　元山港海岸通
仁川代理店　仁川港　堀回漕部
木浦代理店　木浦港　野回漕部
京城荷客取扱店　京城南大門驛前　松原運送店　電話二一七〇番
其他各寄港地ニ荷客取扱店あり